

令和5年 7月 27日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員

種目 算数

代表者 呉市波多見小学校

氏名 蒲原尚博

呉市教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））調査・研究

報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【算数】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①単元の目標を達成するための工夫
方 法	○単元の流れと主な問題、問題場面やまとめ、練習の示し方

発行者	調査・研究内容	
東書	第4学年「数と計算」(学習指導要領内容項目から) 第4学年 A(3)ア(ア)除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。	
	単元の流れと主な問題  ○ 何十でわる計算 ・ $60 \div 20$ ○ 2けたの数でわる筆算(1) ・ $84 \div 21$ ・ $87 \div 21$ ・ $86 \div 23$ ・ $78 \div 19$ ・ $87 \div 25$ ・ $153 \div 24$ ○ 2けたの数でわる筆算(2) ・ $345 \div 21$ ・ $941 \div 23$ 、 $960 \div 16$ ・ $732 \div 216$ ○ わり算のせいしつ ○ わり算のくふう ・ $24000 \div 500$ ・ $2700 \div 400$ ○ 学習のしあげ ○ つないでいこう 算数の目	問題場面やまとめ、練習の示し方 【仮商修正の仕方】 【問 題】 $86 \div 23$ を筆算でしましょう。 ・ 23 を 20 とみて、商の見当をつけてみましょう。 ・ かりの商は、正しい商になっていますか。→商を1小さくする。(1回) ・ $81 \div 12$ の筆算のしかたを説明しましょう。→商を1小さくする。(2回) 【まとめ】 かりの商が大きすぎたときは、商を小さくしていく。 【練 習】 $57 \div 14$ 、 $95 \div 13$ 他6問 →巻末練習問題 ※①  ◆「 $78 \div 19$ 」の問題で、商が小さすぎたときに商を大きくしていく内容を扱う。
大日本	第4学年「数と計算」(学習指導要領内容項目から) 第4学年 A(3)ア(ア)除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。	
	単元の流れと主な問題  ○ 何十でわる計算 ・ $60 \div 20$ ・ $170 \div 50$ ○ (2けた)÷(2けた)の筆算 ・ $63 \div 21$ ・ $93 \div 34$ ・ $85 \div 27$ ○ (3けた)÷(2けた)の筆算 ・ $543 \div 62$ ・ $483 \div 21$ ○ 大きな数のわり算の筆算 ・ $1768 \div 34$ ○ わり算のきまり ・ $200 \div 25$ ・ $4800 \div 500$ ○ かけ算かな、わり算かな	問題場面やまとめ、練習の示し方 【仮商修正の仕方】 【問 題】 $93 \div 34$ の筆算のしかたを考えましょう。 ・ わる数の34を30とみて、商の見当をつけて計算してみましょう。 ・ 商をいくつに直したらよいか考えて、計算し直しましょう。→商を1小さくする。(1回) ※① ・ $84 \div 13$ の筆算のしかたを考えましょう。→商を1小さくする。(2回)

	○ たしかめ問題	<p>※①</p> <p>【まとめ】見当をつけた商が大きすぎたときは、商を小さくしていき、正しい商を見つけます。</p> <p>【練習】<math>86 \div 24</math>、<math>95 \div 12</math> 他6問 →巻末練習問題</p> <p>◆「<math>85 \div 27</math>」の問題で、商が小さすぎたときに商を大きくしていく内容を扱う。</p>
学図	<p>第4学年「数と計算」(学習指導要領内容項目から)</p> <p>第4学年 A(3)ア(ア)除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。</p>	
	<p>単元の流れと主な問題</p> <p>○ はてなを発見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>80 \div 5</math></li> </ul> <p>○ 何十でわるわり算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>80 \div 20</math> ・ <math>80 \div 30</math></li> </ul> <p>○ 2けたでわるわり算(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>84 \div 21</math> ・ <math>96 \div 33</math></li> <li>・ <math>68 \div 16</math> ・ <math>170 \div 34</math></li> </ul> <p>○ 2けたでわるわり算(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>252 \div 12</math> ・ <math>607 \div 56</math></li> <li>・ <math>942 \div 314</math></li> </ul> <p>○ わり算のくふう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>24000 \div 300</math></li> </ul> <p>○ どんな式になるかな</p> <p>○ できるようになったこと・まなびをいかそう</p> <p>○ 考え方モンスターでふりかえろう！</p>	<p>問題場面やまとめ、練習の示し方 【仮商修正の仕方】</p> <p>【問題】<math>96 \div 33</math>の筆算のしかたを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商の見当をつけましょう。</li> <li>・ 商を3として計算してみましょう。</li> <li>→商を1小さくする。(1回)</li> <li>・ 答えのたしかめをしましょう。</li> </ul> <p>【練習】商の見当をつけて計算しましょう。また、答えのたしかめもしましょう。<math>56 \div 14</math>、<math>68 \div 24</math> 他4問</p> <p>【問題】<math>68 \div 16</math>の筆算のしかたを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かりの商をたてましょう。</li> <li>・ わる数とかりの商をかけましょう。</li> <li>・ かりの商を1小さくしましょう。</li> <li>・ かりの商をさらに1小さくしましょう。→商を1小さくする。(2回)</li> </ul> <p>【練習】<math>57 \div 18</math>の計算を、上のように、商の見当をつけて計算しましょう。また、答えのたしかめもしましょう。</p> <p>【まとめ】かりの商が大きすぎたとき、かりの商を1ずつ小さくしていき、正しい商を見つけます。</p> <p>【練習】商の見当をつけて計算しましょう。また、答えのたしかめもしましょう。<math>70 \div 14</math>、<math>69 \div 15</math> 他4問</p>
教出	<p>第4学年「数と計算」(学習指導要領内容項目から)</p> <p>第4学年 A(3)ア(ア)除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の</p>	

計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。	
単元の流れと主な問題	問題場面やまとめ、練習の示し方 【仮商修正の仕方】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どんな学習が始まるかな？ ・ <math>80 \div 20</math></li> <li>○ 何十でわる計算 ・ <math>140 \div 40</math></li> <li>○ 2けた<math>\div</math>2けたの計算 ・ <math>85 \div 21</math></li> <li>○ 商の見つけ方① ・ <math>94 \div 32</math> ・ <math>61 \div 13</math></li> <li>○ 商の見つけ方② ・ <math>87 \div 17</math></li> <li>○ 3けた<math>\div</math>2けたの計算 ・ <math>172 \div 21</math> ・ <math>268 \div 35</math> ・ <math>385 \div 12</math> ・ <math>6522 \div 27</math> ・ <math>2776 \div 46</math>、<math>3016 \div 28</math></li> <li>○ わり算のきまり ・ <math>3600 \div 900</math> ・ <math>1900 \div 800</math></li> <li>○ 学んだことを使おう</li> <li>○ ふり返ろう</li> <li>○ たしかめよう</li> </ul>	<p>【問題】 <math>94 \div 32</math> の計算のしかたを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商の見当をつけましょう。</li> <li>・ わる数の <math>32</math> を <math>30</math> とみたてた商は、大きすぎました。商をどのようになおせばよいでしょうか。→商を1小さくする。(1回)</li> </ul> <p>【練習】 商の見当をつけて、計算をしましょう。<math>67 \div 23</math>、<math>58 \div 12</math> 他3問</p> <p>【問題】 <math>61 \div 13</math> の計算のしかたを考えましょう。</p> <p>【まとめ】 見当をつけた商が大きすぎたときは、商を1ずつ小さくしていき、正しい商を見つけます。→商を1小さくする。(2回) ※①</p> <p>【練習】 商の見当をつけて、計算をしましょう。<math>71 \div 13</math>、<math>93 \div 12</math> 他3問 →巻末練習問題</p> <p>◆「<math>87 \div 17</math>」の問題で、商が小さすぎたときに商を大きくしていく内容を扱う。</p>
<p>第4学年「数と計算」(学習指導要領内容項目から)</p> <p>第4学年 A(3)ア(ア)除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。</p>	
単元の流れと主な問題	問題場面やまとめ、練習の示し方 【仮商修正の仕方】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 何本買えるかな？ ・ <math>80 \div 8</math></li> <li>○ 何十でわるわり算 ・ <math>80 \div 20</math> ・ <math>80 \div 30</math> ・ <math>170 \div 30</math></li> <li>○ 商が1けたになる筆算 ・ <math>96 \div 32</math> ・ <math>175 \div 35</math> ・ <math>252 \div 36</math>、<math>168 \div 28</math>、<math>324 \div 36</math></li> <li>○ 商が2けた、3けたになる筆算 ・ <math>552 \div 24</math> ・ <math>9646 \div 26</math>、<math>1485 \div 26</math>、<math>7536 \div 314</math></li> </ul>	<p>【問題】 次の計算をしてみましょう。 ア <math>252 \div 36</math> イ <math>168 \div 28</math> ウ <math>324 \div 36</math></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ア <math>252 \div 36</math> →商を1小さくする。(1回)</li> </ul> <p style="text-align: center;">※①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イ <math>168 \div 28</math> →商を1小さくする。(2回)</li> <li>・ ウ <math>324 \div 36</math> →商を1小さくする。(1回)</li> </ul> <p>【まとめ】 商が大きすぎたら、1ずつ小さくすればいいんだね。</p>
啓林館	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 練習</li> <li>○ わり算のせいしつ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>6500 \div 250</math></li> </ul> </li> <li>○ 学びのまとめ</li> </ul>	<p>【練習】 <math>52 \div 13</math>、<math>75 \div 15</math>、<math>522 \div 58</math> 他3問</p>			
<p>日文</p>	<p>第4学年「数と計算」(学習指導要領内容項目から)  第4学年 A(3)ア(ア)除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。</p>				
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">単元の流れと主な問題</th> <th style="text-align: center;">問題場面やまとめ、練習の示し方 【仮商修正の仕方】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計算できるかな</li> <li>○ 何十でわる計算 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>80 \div 20</math> ・ <math>120 \div 40</math> ・ <math>140 \div 30</math></li> </ul> </li> <li>○ 2けたの数でわる計算(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>65 \div 21</math>    ・ <math>89 \div 28</math></li> <li>・ <math>71 \div 12</math>    ・ <math>143 \div 23</math></li> <li>・ <math>436 \div 48</math>    ・ <math>73 \div 17</math></li> </ul> </li> <li>○ 2けたの数でわる計算(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>368 \div 24</math></li> <li>・ <math>860 \div 43</math>、<math>743 \div 24</math></li> </ul> </li> <li>○ わり算のきまり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>150 \div 25</math></li> <li>・ <math>4800 \div 600</math>    ・ <math>2500 \div 200</math></li> </ul> </li> <li>○ わかっているかな</li> <li>○ たしかめよう</li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>【問題】 <math>89 \div 28</math> を筆算でしましょう。  ・ 商の見当をつけましょう。→商を1小さくする。(1回)</p> <p>【練習】 <math>65 \div 26</math> 他2問 ※㊦</p> <p>【問題】 <math>71 \div 12</math> を筆算でしましょう。  ・ 商の見当をつけましょう。→商を1小さくする。(2回)</p> <p>【まとめ】 見当をつけた商が大きすぎたときは、商を1ずつ小さくしていきます。</p> <p>【練習】 <math>67 \div 16</math> 他2問 →巻末練習問題  ※㊦</p> <p>(注)デジタルコンテンツと対応している箇所は、※㊦と表している。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	単元の流れと主な問題	問題場面やまとめ、練習の示し方 【仮商修正の仕方】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計算できるかな</li> <li>○ 何十でわる計算 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>80 \div 20</math> ・ <math>120 \div 40</math> ・ <math>140 \div 30</math></li> </ul> </li> <li>○ 2けたの数でわる計算(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>65 \div 21</math>    ・ <math>89 \div 28</math></li> <li>・ <math>71 \div 12</math>    ・ <math>143 \div 23</math></li> <li>・ <math>436 \div 48</math>    ・ <math>73 \div 17</math></li> </ul> </li> <li>○ 2けたの数でわる計算(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>368 \div 24</math></li> <li>・ <math>860 \div 43</math>、<math>743 \div 24</math></li> </ul> </li> <li>○ わり算のきまり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>150 \div 25</math></li> <li>・ <math>4800 \div 600</math>    ・ <math>2500 \div 200</math></li> </ul> </li> <li>○ わかっているかな</li> <li>○ たしかめよう</li> </ul>	<p>【問題】 <math>89 \div 28</math> を筆算でしましょう。  ・ 商の見当をつけましょう。→商を1小さくする。(1回)</p> <p>【練習】 <math>65 \div 26</math> 他2問 ※㊦</p> <p>【問題】 <math>71 \div 12</math> を筆算でしましょう。  ・ 商の見当をつけましょう。→商を1小さくする。(2回)</p> <p>【まとめ】 見当をつけた商が大きすぎたときは、商を1ずつ小さくしていきます。</p> <p>【練習】 <math>67 \div 16</math> 他2問 →巻末練習問題  ※㊦</p> <p>(注)デジタルコンテンツと対応している箇所は、※㊦と表している。</p>
単元の流れと主な問題	問題場面やまとめ、練習の示し方 【仮商修正の仕方】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計算できるかな</li> <li>○ 何十でわる計算 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>80 \div 20</math> ・ <math>120 \div 40</math> ・ <math>140 \div 30</math></li> </ul> </li> <li>○ 2けたの数でわる計算(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>65 \div 21</math>    ・ <math>89 \div 28</math></li> <li>・ <math>71 \div 12</math>    ・ <math>143 \div 23</math></li> <li>・ <math>436 \div 48</math>    ・ <math>73 \div 17</math></li> </ul> </li> <li>○ 2けたの数でわる計算(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>368 \div 24</math></li> <li>・ <math>860 \div 43</math>、<math>743 \div 24</math></li> </ul> </li> <li>○ わり算のきまり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>150 \div 25</math></li> <li>・ <math>4800 \div 600</math>    ・ <math>2500 \div 200</math></li> </ul> </li> <li>○ わかっているかな</li> <li>○ たしかめよう</li> </ul>	<p>【問題】 <math>89 \div 28</math> を筆算でしましょう。  ・ 商の見当をつけましょう。→商を1小さくする。(1回)</p> <p>【練習】 <math>65 \div 26</math> 他2問 ※㊦</p> <p>【問題】 <math>71 \div 12</math> を筆算でしましょう。  ・ 商の見当をつけましょう。→商を1小さくする。(2回)</p> <p>【まとめ】 見当をつけた商が大きすぎたときは、商を1ずつ小さくしていきます。</p> <p>【練習】 <math>67 \div 16</math> 他2問 →巻末練習問題  ※㊦</p> <p>(注)デジタルコンテンツと対応している箇所は、※㊦と表している。</p>				

【算数】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための工夫
方 法	○スパイラルに取り扱われている内容と練習問題数

発行者	調査・研究内容			
東書	第1学年～第3学年「数と計算」(学習指導要領内容項目から)			
	① 第1学年A(1)ア(キ)「数を、十を単位としてみること。」			
	② 第1学年A(2)ア(エ)「簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知ること。」			
	③ 第2学年A(1)ア(ウ)「数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解すること。」			
	④ 第2学年A(2)ア(イ)「簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方を知ること。」			
	⑤ 第2学年A(3)ア(オ)「簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を知ること。」			
	⑥ 第3学年A(1)ア(イ)「10倍、100倍、1000倍、 $\frac{1}{10}$ の大きさの数及びそれらの表し方について知ること。」			
	⑦ 第3学年A(4)ア(オ)「簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方を知ること。」			
		内容項目	単元名	スパイラルに取り扱われている内容
	①	おおきいかず	・「たねの数を数字でかく」の例題	6
	②	おおきいかず	・「 $30+4$ 」「 $34-4$ 」「 $25+3$ 」「 $28-3$ 」「 $30+20$ 」「 $50-20$ 」の例題	16
	③	3けたの数	・「10を14こあつめた数」「230は10を何こあつめた数」の例題	2
	④	3けたの数	・「 $300+200$ 」「 $600-200$ 」「 $500+30$ 」「 $530-30$ 」の例題	10
		たし算とひき算のひっ算	・「 $415+32$ 」「 $345-21$ 」「 $18+345$ 」「 $526+9$ 」「 $483-27$ 」「 $524-6$ 」の例題	12
	⑤	かけ算(2)	・九九の表を拡張し、「1位数 $\times$ 12までの数」及び「12までの数 $\times$ 1位数」の表に答えを記入	0
	⑥	大きい数のしくみ	・「25を10倍」「250を10で割る」「25の100倍」の例題	4
	⑦	大きい数のわり算、分数とわり算	・「 $60\div 3$ 」「 $69\div 3$ 」の例題	8
大日本	第1学年～第3学年「数と計算」(学習指導要領内容項目から)			
	① 第1学年A(1)ア(キ)「数を、十を単位としてみること。」			
	② 第1学年A(2)ア(エ)「簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知ること。」			

- ③ 第2学年A(1)ア(ウ)「数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解すること。」
- ④ 第2学年A(2)ア(イ)「簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方をすること。」
- ⑤ 第2学年A(3)ア(オ)「簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方をすること。」
- ⑥ 第3学年A(1)ア(イ)「10倍、100倍、1000倍、1/10の大きさの数及びそれらの表し方について知ること。」
- ⑦ 第3学年A(4)ア(オ)「簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方をすること。」

内容項目	単元名	スパイラルに取り扱われている内容	練習問題数
①	大きなかず	・「おはじきの数を数字でかく」の例題	4
②	大きなかず	・「 $40+30$ 」「 $50-30$ 」「 $32+6$ 」「 $38-6$ 」の例題	24
③	100より大きい数	・「10を13こあつめた数」「10を28こあつめた数」「160は10をいくつあつめた数」「250は10をいくつあつめた数」の例題	7
④	たし算とひき算のひっ算	・「 $327+68$ 」「 $8+459$ 」「 $582-63$ 」「 $713-5$ 」の例題	7
	1000より大きい数	・「 $700+400$ 」「 $900-400$ 」の例題	9
⑤	かけ算のきまり	・九九の表を拡張し、「1位数 $\times$ 12までの数」及び「12までの数 $\times$ 1位数」の表に答えを記入	2
⑥	10000より大きい数	・「20を10倍」「32を10倍」「32を100倍」「32を1000倍」「200を10で割る」「450を10で割る」の例題	19
⑦	答えが2けたになるわり算	・「 $60\div 3$ 」「 $69\div 3$ 」の例題	10

学図

- 第1学年～第3学年「数と計算」(学習指導要領内容項目から)
- ① 第1学年A(1)ア(キ)「数を、十を単位としてみること。」
  - ② 第1学年A(2)ア(エ)「簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知ること。」
  - ③ 第2学年A(1)ア(ウ)「数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解すること。」
  - ④ 第2学年A(2)ア(イ)「簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方をすること。」
  - ⑤ 第2学年A(3)ア(オ)「簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方をすること。」
  - ⑥ 第3学年A(1)ア(イ)「10倍、100倍、1000倍、1/10の大きさの数及びそれらの表し方について知ること。」

⑦ 第3学年A(4)ア(オ)「簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方を知ること。」

内容項目	単元名	スパイラルに取り扱われている内容	練習問題数
①	大きいかずをかぞえよう	・「ブロックの数を数える」の例題	4
②	大きいかずをかぞえよう	・「 $20+30$ 」「 $23+6$ 」「 $50-20$ 」「 $38-5$ 」の例題	26
③	1000までの数	・「230は10を何こあつめた数」の例題	3
④	大きい数のたし算とひき算	・「 $400+300$ 」「 $700+300$ 」「 $628+7$ 」の例題	12
	大きい数のたし算とひき算	・「 $500-300$ 」「 $753-6$ 」の例題	16
⑤	かけ算(3)	・3の段の九九を拡張し、「 $3\times 10$ 」「 $3\times 11$ 」「 $3\times 12$ 」を計算	2
⑥	大きい数	・「20の10倍」「150を10で割る」の例題	25
⑦	わり算	・「 $80\div 4$ 」「 $36\div 3$ 」の例題	6

第1学年～第3学年「数と計算」(学習指導要領内容項目から)

- ① 第1学年A(1)ア(キ)「数を、十を単位としてみること。」
- ② 第1学年A(2)ア(エ)「簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知ること。」
- ③ 第2学年A(1)ア(ウ)「数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解すること。」
- ④ 第2学年A(2)ア(イ)「簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方を知ること。」
- ⑤ 第2学年A(3)ア(オ)「簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を知ること。」
- ⑥ 第3学年A(1)ア(イ)「10倍、100倍、1000倍、 $1/10$ の大きさの数及びそれらの表し方について知ること。」
- ⑦ 第3学年A(4)ア(オ)「簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方を知ること。」

教出

内容項目	単元名	スパイラルに取り扱われている内容	練習問題数
①	大きなかず	・「たねの数を数える」の例題	4
②	大きなかず	・「 $30+20$ 」「 $60-20$ 」「 $24+3$ 」「 $36-4$ 」の例題	12
③	100より大きい数	・「10を16こあつめた数」「250は10を何こあつめた数」の例題	5
④	たし算とひき算	・「 $437+6$ 」「 $719+33$ 」「 $282-6$ 」「 $271-34$ 」の計算の仕方	16
	100より大きい数	・「 $300+400$ 」「 $700-200$ 」「 $430+20$ 」「 $360-40$ 」の計算の仕方	10
⑤	九九の表	・「 $4\times 10$ 、 $4\times 11$ 、 $4\times 12$ 」「10	0



		× 4、11× 4、12× 4」の求め方を考え、九九表を「1 位数× 12 までの数」「12 までの数× 1 位数」の範囲に拡張	
⑥	10000 より大きい数	・「20 の 10 倍」「25 の 10 倍」「25 の 100 倍、1000 倍」「200 を 10 で割る」の例題	12
⑦	わり算	・「60÷ 3」「69÷ 3」の計算の仕方	10

- 第1 学年～第3 学年「数と計算」(学習指導要領内容項目から)
- ① 第1 学年A(1)ア(キ)「数を、十を単位としてみること。」
  - ② 第1 学年A(2)ア(エ)「簡単な場合について、2 位数などについても加法及び減法ができることを知ること。」
  - ③ 第2 学年A(1)ア(ウ)「数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解すること。」
  - ④ 第2 学年A(2)ア(イ)「簡単な場合について、3 位数などの加法及び減法の計算の仕方を知ること。」
  - ⑤ 第2 学年A(3)ア(オ)「簡単な場合について、2 位数と1 位数との乗法の計算の仕方を知ること。」
  - ⑥ 第3 学年A(1)ア(イ)「10 倍、100 倍、1000 倍、1/10 の大きさの数及びそれらの表し方について知ること。」
  - ⑦ 第3 学年A(4)ア(オ)「簡単な場合について、除数が1 位数で商が2 位数の除法の計算の仕方を知ること。」

啓林館

内容項目	単元名	スパイラルに取り扱われている内容	練習問題数
①	大きいかず	・「ぼうの数を数字でかく」の例題	3
②	100 までのかずのけいさん	・「40+30」「70-20」「20+6」「34-4」「32+5」「27-4」の例題	32
③	100 をこえる数	・「10 を24 こあつめた数」「360 は10 を何こあつめた数」の例題	2
④	たし算とひき算のひっ算(2)	・「234+57」「381-53」の計算の仕方	8
	100 をこえる数	・「200+400」「800-600」の例題	6
⑤	かけ算のきまり	・「4×12」の立式と答えの求め方 ・「12×4」の立式と答えの求め方	2
⑥	一万をこえる数	・「20 の 10 倍」「25 の 10 倍」「25 の 100 倍」「25 の 1000 倍」「50 を 10 で割る」「250 を 10 で割る」の例題	17
⑦	わり算	・「40÷ 4」「60÷ 3」「69÷ 3」の計算の仕方	11

- 第1学年～第3学年「数と計算」(学習指導要領内容項目から)
- ① 第1学年A(1)ア(キ)「数を、十を単位としてみること。」
  - ② 第1学年A(2)ア(エ)「簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知ること。」
  - ③ 第2学年A(1)ア(ウ)「数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解すること。」
  - ④ 第2学年A(2)ア(イ)「簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方を知ること。」
  - ⑤ 第2学年A(3)ア(オ)「簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を知ること。」
  - ⑥ 第3学年A(1)ア(イ)「10倍、100倍、1000倍、 $1/10$ の大きさの数及びそれらの表し方について知ること。」
  - ⑦ 第3学年A(4)ア(オ)「簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方を知ること。」

日文

内容項目	単元名	スパイラルに取り扱われている内容	練習問題数
①	20より大きいかず	・「ブロックの数を数字でかく」の例題	4
②	たしざんとひきざん	・「 $20+30$ 」「 $50-20$ 」「 $20+4$ 」「 $35+3$ 」「 $24-4$ 」「 $26-3$ 」の計算の仕方	27
③	1000までの数	・「10を13こあつめた数」「240は10を何こあつめた数」の例題	0
④	たし算とひき算の筆算	・「 $543+24$ 」「 $468+25$ 」「 $156+9$ 」「 $393-52$ 」「 $276-29$ 」「 $324-8$ 」の計算の仕方	20
	10000までの数	・「 $800+500$ 」「 $800-100$ 」の例題	4
⑤	九九のひょう	・九九の表を拡張し、「1位数 $\times$ 12までの数」及び「12までの数 $\times$ 1位数」の表に答えを記入	0
⑥	大きい数	・「20を10倍」「25を10倍」「25の100倍、1000倍」「200を10で割る」の例題	8
⑦	わり算	・「 $60\div 3$ 」「 $69\div 3$ 」の立式と計算の仕方	9

【算数】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	③興味・関心を高めるための工夫
方 法	○単元の導入、日常生活や社会とのつながり、単元の終末

発行者	調査・研究内容		
東書	第6学年「比例と反比例」		
	単元の導入	日常生活や社会とのつながり	単元の終末
	○ 比例をふり返ろう これまで、ともなって変わるいろいろな2つの数量の変わり方を調べてきました。	○ 比例 ・歩く時間と進む道のり ・水そうに水を入れる時間と水の量 ・フェリーの進む時間と道のり ・自転車で走った時間と道のり ・画用紙の枚数と重さ、厚さ ・新幹線が進む時間と道のり ・ものの高さとかげの長さ ・針金の長さと重さ ・砂の量と重さ ○ 反比例 ・6kmの道のりを歩くときの時速とかかった時間 ・水そうに水をいっぱいに入れるときの、1分あたりに入れる水の量と水を入れる時間 ・自動車がA市からB市までの間を走るときの時速とかかる時間	○ つないでいこう算数の目～大切な見方・考え方 ・求めたいことに注目し、表や式、グラフを使い分ける。 ・砂の量 $x$ L と重さ $y$ kg の関係について調べる。
大日本	第6学年「比例と反比例」		
	単元の導入	日常生活や社会とのつながり	単元の終末
	○ ともなって変わる2つの量の関係を調べよう れんさんの学校では、リサイクルのためにペットボトルを集めています。	○ 比例 ・紙の枚数と重さ、厚さ ・くぎの本数と重さ ・肉の重さと代金 ・印刷機の、印刷にかかった時間と印刷した枚数 ・水そうに水を入れる時間と水の深さ ・自動車が走る時間と道のり ・船が進んだ時間と道のり ・電車が走るときの時間と道のり ・電動自転車の走った時間と道のり ・硬貨の重さと枚数 ○ 反比例 ・6kmはなれたところへ行くときの時速とかかる時間	○ 学んだことを生かそう ・水が□L 入る水そうがあります。1分間に○L ずつ水を入れると△分間でいっぱいになります。 ・□○△のうち1つの値を決めたときの、残り2つの値の関係について

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・24mのリボンを何人かで等分するときの、分ける人数と1人分の長さ</li> <li>・18 m<sup>3</sup>の水を入れるときの、1時間に入れる水の量とかかる時間</li> <li>・電車が160 km進むときの時速とかかる時間</li> </ul>	て調べる。
学図	第6学年「比例と反比例」		
	単元の導入	日常生活や社会とのつながり	単元の終末
	<p>○ 紙の枚数を調べるには？ 1年生から6年生までの自分の“思い出”を書くことにしました。</p>	<p>○ 比例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙の枚数と重さ、厚さ</li> <li>・針金の長さとし重さ</li> <li>・水そうに入れた水の量と水の深さ</li> <li>・車が走った時の時間と道のり</li> <li>・カードの枚数と代金</li> <li>・コーラの量とその中に入っている砂糖の量</li> <li>・くぎの本数と重さ</li> <li>・おもりの重さとゴムののびる長さ</li> <li>・えん筆の本数と代金</li> <li>・歩いた時間と道のり</li> <li>・リボンの長さとし代金</li> </ul> <p>○ 反比例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人では60日かかる仕事を、仕上げるのに必要な人数とかかる日数</li> <li>・36 kmの道のりを行くときの時速と時間</li> <li>・東京から高速道路で静岡まで行くときの時速と時間</li> </ul>	<p>○ 考え方モンスターでふりかえろう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比例の関係にある2つの量を、表や式、グラフなどで表すと、どんな関係にあるか見やすくなりました。</li> <li>・水そうに入れた水の量 <math>xL</math> と深さ <math>y cm</math> の関係について調べる。</li> </ul>
教出	第6学年「比例と反比例」		
	単元の導入	日常生活や社会とのつながり	単元の終末
	<p>○ 画用紙は全部で何枚あるのかな。 みんなでコンクールに応募する絵をかくために、たくさん画用紙を用意しました。</p>	<p>○ 比例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・画用紙の枚数と重さ、高さ</li> <li>・水そうに水を入れる時間と水の深さ</li> <li>・針金の長さとし重さ</li> <li>・電車と自動車が同時に出発したときの時間と進んだ道のり</li> <li>・ソフトクリーム屋の行列に並ぶ人数と待ち時間</li> <li>・階段の段数と高さ</li> <li>・自動車の走る時間と進む道のり</li> <li>・ボールペンを買った時の本数とし代金</li> <li>・ジュースのびんの本数としジュースの量</li> </ul> <p>○ 反比例</p>	<p>○ 学んだことを使おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はやとさんは、ソフトクリーム屋の行列に並んでいます。</li> <li>・行列に並ぶ人数と待ち時間の関係について調べる。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・36mの道のりを進むときの分速と時間</li> <li>・6 m<sup>3</sup>の水そうに水を入れるときの1時間あたりに入れる水の体積といっぱいになる時間</li> <li>・20 kmの道のりを進むときの時速と時間</li> </ul>	
	第6学年「比例と反比例」		
	単元の導入	日常生活や社会とのつながり	単元の終末
啓林館	<p>○ ともなって変わる2つの数量は？ 次のことについて、ともなって変わる2つの数量をみつけましょう。</p>	<p>○ 比例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水そうに水を入れたときの時間と水の深さ</li> <li>・鉄の棒の長さや重さ</li> <li>・列車の走った時間と道のり</li> <li>・バスの走った時間と道のり</li> <li>・マラソン大会で2人が走った時間と道のり</li> <li>・画用紙の枚数と重さ、厚さ</li> <li>・くぎの重さと本数</li> <li>・油の重さと体積</li> <li>・船が進む時間と道のり</li> <li>・水道から水を出したときの時間と水の量</li> <li>・色紙の枚数と厚さ</li> </ul> <p>○ 反比例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・24 kmの道のりを行くときの時速と時間</li> <li>・120 kmの道のりを移動するときの時速と時間</li> </ul>	<p>○ 見方・考え方を深めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1冊120円のノートと1冊100円のノートが、あわせて50冊売れました。ノート50冊の売上高は5300円でした。</li> <li>・それぞれのノートの冊数と売上高がどのように変わるか、表にかいて調べる。</li> </ul>
	第6学年「比例と反比例」		
	単元の導入	日常生活や社会とのつながり	単元の終末
日文	<p>○ どのように変わるかなともなって変わる2つの量を見つけましょう。</p>	<p>○ 比例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水そうに水を入れた時間と水の深さ</li> <li>・バスが高速道路を走ったときの時間と道のり</li> <li>・針金の長さや重さ</li> <li>・A班とB班がハイキングで同時に歩き始めたときの歩いた時間と道のり</li> <li>・画用紙の枚数と重さ、厚さ</li> <li>・歩く時間と道のり</li> <li>・おもりの重さとばねの伸び</li> </ul> <p>○ 反比例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・180 km離れたA市からB市へ行くときの、時速とかかる時間</li> <li>・水そうに入れる1分あたりの水の量と、</li> </ul>	<p>○ 算数ジャンプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なつみさんは、学校で水資源について学習し、家でも水の節約ができなにか、お兄さんに相談してみました。</li> <li>・浴そうにお湯をためる場合と、シャワーだけにする場合のどちらが水</li> </ul>

		いっぱいにするのにかかる時間	の節約につながるか調べる。
--	--	----------------	---------------

【算数】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④問題解決的な学習を実施するための工夫
方 法	○単元の問題解決の過程

発行者	調査・研究内容			
	第5学年「平面図形の面積」			
	導入	展開①	展開②	他の図形等への発展
東書	<p>【面積の求め方を考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 色々な四角形や三角形について、既習と未習の事項を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「下の平行四辺形 ABCD の面積は何 <math>\text{cm}^2</math> ですか。」</li> <li>○ 主な発問・めあて ・「面積の求め方を考えよう。」 ・「平行四辺形の面積を求める公式をつくろう。」 ・「平行四辺形の高さについて考えよう。」</li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 ・等積変形(2種類)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「下の三角形 ABC の面積は何 <math>\text{cm}^2</math> ですか。」</li> <li>○ 主な発問・めあて ・「面積の求め方を考えよう。」 ・「三角形の面積を求める公式をつくろう。」 ・「三角形の高さについて考えよう。」</li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 ・等積変形(1種類) ・既習の図形の半分の面積とみる考え(2種類)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 台形の面積を求める公式を考える。</li> <li>○ ひし形の面積を求める公式を考える。</li> <li>○ 三角形の高さと面積の関係を調べる。</li> <li>○ 既習の面積の求め方の活用 ・等積変形(2種類) ・既習の図形の半分の面積とみる考え(2種類) ・既習の図形に分割する考え(2種類)</li> </ul>
大日本	<p>【面積の求め方を考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 色々な四角形や三角形について、既習と未習の事項を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「次の平行四辺形の面積を求めましょう。」</li> <li>○ 主な発問・めあて ・「平行四辺形の面積の求め方を考えよう。」 ・「平行四辺形の面積を求める公式をつくろう。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「次の三角形の面積を求めましょう。」</li> <li>○ 主な発問・めあて ・「三角形の面積の求め方を考えよう。」 ・「三角形の面積を求める公式をつくろう。」 ・「高さが底辺上にない三角形でも、底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 台形の面積を求める公式を考える。</li> <li>○ ひし形の面積の求め方を考える。</li> <li>○ 一般的な四角形や五角形の面積を工夫して求める。</li> <li>○ 既習の面積の</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高さが底辺上になり平行四辺形でも、底辺×高さで面積が求められるか考えよう。」</li> <li>・「平行四辺形の高さと面積の関係を調べよう。」</li> </ul> <p>○ 既習の面積の求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形(2種類)</li> </ul>	<p>辺×高さ÷2で面積が求められるか考えよう。」</p> <p>○ 既習の面積の求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形(1種類)</li> <li>・既習の図形の半分の面積とみる考え(2種類)</li> </ul>	<p>求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形(1種類)</li> <li>・既習の図形の半分の面積とみる考え(2種類)</li> <li>・既習の図形に分割する考え(2種類)</li> </ul>
--	--	--	--	--

第5学年「平面図形の面積」				
	導入	展開①	展開②	他の図形等への発展
学図	<p>【面積の求め方を考えよう】</p> <p>○ 厚紙で作った長方形の枠を傾けて平行四辺形になった場面から、長方形と平行四辺形の面積が等しいか考える。</p>	<p>○ 課題提示</p> <p>「右のような長方形と下の平行四辺形の面積を比べてみましょう。」</p> <p>○ 主な発問・めあて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「平行四辺形の面積を求める公式はあるのかな。」</li> <li>・「次の平行四辺形の面積を求めましょう。」</li> <li>・「どこが底辺と高さになるのかな。」</li> <li>・「平行四辺形の高さはどこにあるのかな。」</li> <li>・「底辺と高さが等しくて、形がちがう平行四辺形の面積は、どんな関係かな。」</li> </ul> <p>○ 既習の面積の求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形(2種類)</li> </ul>	<p>○ 課題提示</p> <p>「次のような三角形の面積の求め方を考えましょう。」</p> <p>○ 主な発問・めあて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「三角形の面積は、どのように求めればよいのかな。」</li> <li>・「三角形の面積を求める公式はあるのかな。」</li> <li>・「三角形の高さはどこにあるのかな。」</li> </ul> <p>○ 既習の面積の求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形(2種類)</li> <li>・既習の図形の半分の面積とみる考え(2種類)</li> </ul>	<p>○ 台形の面積を求める公式を考える。</p> <p>○ ひし形の面積を求める公式を考える。</p> <p>○ 一般的な四角形や五角形の面積を工夫して求める。</p> <p>○ 既習の面積の求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・等積変形(4種類)</li> <li>・既習の図形の半分の面積とみる考え(2種類)</li> <li>・既習の図形に分割する考え(2種類)</li> </ul>
第5学年「平面図形の面積」				
教出	導入	展開①	展開②	他の図形等への発展



	<p>【四角形や三角形の面積】</p> <p>○ 厚紙で作った長方形の枠を傾けて平行四辺形になった場面から、長方形と平行四辺形の面積が等しいか考える。</p>	<p>○ 課題提示 「平行四辺形の面積の求め方を考えましょう。」</p> <p>○ 主な発問・めあて ・「平行四辺形の面積を、計算で求める方法を考えましょう。」 ・「面積の求め方を説明しましょう。」 ・「下の平行四辺形の面積を比べましょう。」</p> <p>○ 既習の面積の求め方の活用 ・等積変形(2種類)</p>	<p>○ 課題提示 「下の三角形の面積の求め方を考えましょう。」</p> <p>○ 主な発問・めあて ・「三角形の面積は、どんな形をもとにして求めればいいのか。」 ・「三角形の面積を、計算で求める方法を考えましょう。」 ・「面積の求め方を説明しましょう。」</p> <p>○ 既習の面積の求め方の活用 ・等積変形(1種類) ・既習の図形の半分の面積とみる考え(2種類)</p>	<p>○ 台形の面積を求める公式を考える。</p> <p>○ ひし形の面積を求める公式を考える。</p> <p>○ 一般的な四角形の面積を工夫して求める。</p> <p>○ およその面積を求める。</p> <p>○ 既習の面積の求め方の活用 ・等積変形(2種類) ・既習の図形の半分の面積とみる考え(2種類) ・既習の図形に分割する考え(2種類)</p>
--	---	--	--	---

第5学年「平面図形の面積」				
導入	展開①	展開②	他の図形等への発展	
<p>啓林館</p> <p>【面積】</p> <p>○ 色々な四角形や三角形について、面積の求め方を学習した図形を確認する。</p>	<p>○ 課題提示 「直角三角形の面積を求めましょう。」</p> <p>○ 主な発問・めあて ・「三角形の面積の求め方を考えよう。」 ・「三角形の面積の公式をつくろう。」</p> <p>○ 既習の面積の求め方の活用 ・等積変形(2種類) ・既習の図形の半分の面積とみる考え(2種類) ・既習の図形に分割する考え(1種類)</p>	<p>○ 課題提示 「平行四辺形の面積を求めましょう。」</p> <p>○ 主な発問・めあて ・「平行四辺形の面積の求め方を考えよう。」 ・「平行四辺形の面積の公式をつくろう。」 ・「三角形や平行四辺形の高さについて考えよう。」</p> <p>○ 既習の面積の求め方の活用 ・等積変形(3種類) ・既習の図形に分割する考え(1種類)</p>	<p>○ 台形の面積を求める公式を考える。</p> <p>○ ひし形の面積の求め方を考える。</p> <p>○ 多角形の面積の求め方を考える。</p> <p>○ 三角形の面積と高さの関係を調べる。</p> <p>○ 既習の面積の求め方の活用 ・等積変形(1種類) ・既習の図形の半分の面積と</p>	

				みる考え (2種類) ・既習の図形に 分割する考え (2種類)
	第5学年「平面図形の面積」			
	導入	展開①	展開②	他の図形等への 発展
日文	<p>【面積の求め方を考えよう】</p> <p>○ 周りの長さが同じ長さの4つの班の花壇について、どの班の花壇が広いか考える。</p>	<p>○ 課題提示 「下の平行四辺形の面積を求めましょう。」</p> <p>○ 主な発問・めあて ・「平行四辺形の面積の求め方を考えよう。」 ・「平行四辺形の面積を求める公式をつくろう。」 ・「平行四辺形の面積の求め方をさらに考えよう。」</p> <p>○ 既習の面積の求め方の活用 ・等積変形(3種類) ・既習の図形の半分の面積とみる考え(1種類)</p>	<p>○ 課題提示 「下の三角形の面積を求めましょう。」</p> <p>○ 主な発問・めあて ・「三角形の面積の求め方を考えよう。」 ・「三角形の面積を求める公式をつくろう。」 ・「三角形の面積の求め方をさらに考えよう。」</p> <p>○ 既習の面積の求め方の活用 ・等積変形(1種類) ・既習の図形の半分の面積とみる考え(1種類)</p>	<p>○ 台形の面積を求める公式を考える。</p> <p>○ ひし形の面積を求める公式を考える。</p> <p>○ 一般的な四角形の面積を工夫して求める。</p> <p>○ 平行四辺形や三角形の高さと面積の関係を調べる。</p> <p>○ 既習の面積の求め方の活用 ・等積変形(1種類) ・既習の図形の半分の面積とみる考え(2種類) ・既習の図形に分割する考え(2種類)</p>

【算数】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤具体的な体験を伴う学習を実施するための工夫
方 法	○具体的な体験を伴う学習場面の数と具体例

発行者	調査・研究内容		
東書	【図形領域】		
	学年	学習場面の数	具体例と数
	1	8	比べる 6
	2	9	調べる 35
	3	11	仲間に分ける 7
	4	26	つくる 11
	5	15	かく 22
	6	12	確かめる 0
			見つける 0
	【プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための活動】		
学年	学習場面	DC	
4	「四捨五入する手順を考えよう」	○	
5	「倍数を求める手順を考えよう」	○	
	「正多角形をかく手順を考えよう」	○	
6	「数の並べかえ方を考えよう」	○	
	「中央値を考えよう」	○	
	「平均値を求めよう」	○	
	「最頻値を求めよう」	○	
(DC・・・デジタルコンテンツ)			
大日本	【図形領域】		
	学年	学習場面の数	具体例と数
	1	7	比べる 7
	2	10	調べる 38
	3	13	仲間に分ける 6
	4	32	つくる 16
	5	19	かく 26
	6	14	確かめる 0
			見つける 2
	【プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための活動】		
学年	学習場面	DC	
1	「ゴールをめざそう」	○	
2	「ねらったますにたどりつこう」		
	「かけ算のプログラムをつくろう」	○	
3	「おはじき取りゲーム」		
	「単位へんかんきをつくろう」	○	
4	「アルゴリズムを整理しよう」		
	「変わり方を調べよう」	○	

5	「小数のわり算の筆算のしかたを整理しよう」 「正多角形をかこう」	○
6	「形が同じ図形を見分けよう」 「比例のグラフをかこう」	○

(DC・・・デジタルコンテンツ)

学図	<b>【図形領域】</b>		
	学年	学習場面の数	具体例と数
	1	9	比べる 13
	2	13	調べる 41
	3	16	仲間に分ける 7
	4	28	つくる 17
	5	25	かく 28
	6	18	確かめる 2
			見つける 1
	<b>【プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための活動】</b>		
	学年	学習場面	DC
	1	「おもいどおりにうごかしてみよう」	○
	2	「「ひとふでがき」のほうほうを考えよう」	○
	3	「少ない指じで思い通りに動かしてみよう」	○
	4	「どうしたら重さのちがうものをさがすことができるかな」	○
	5	「正多角形をかいてみよう」	○
	6	「「ハノイのとう」のリングの移し方を考えよう」	○
	(DC・・・デジタルコンテンツ)		

教出	<b>【図形領域】</b>		
	学年	学習場面の数	具体例と数
	1	7	比べる 8
	2	8	調べる 32
	3	11	仲間に分ける 6
	4	31	つくる 11
	5	20	かく 34
	6	15	確かめる 0
			見つける 1
	<b>【プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための活動】</b>		
	学年	学習場面	DC
	1	「めざせ！にんじん」	○
	2	「ターゲットの数をつくろう！」	○
	4	「ゴールをめざそう！」	○
	5	「ゴールをめざそう！（正多角形をかく）」	○
	(DC・・・デジタルコンテンツ)		

啓林館	【図形領域】		
	学年	学習場面の数	具体例と数
	1	10	比べる 11
	2	13	調べる 44
	3	17	仲間に分ける 6
	4	35	つくる 18
	5	24	かく 34
	6	21	確かめる 1
			見つける 6
	【プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための活動】		
学年	学習場面	DC	
1	「ろぼっとをうごかしてみよう」	○	
2	「むきを考えてプログラムをつくろう」	○	
3	「同じアイテムをすべて集めるプログラムをつくろう」	○	
4	「人数を求めるプログラムをつくって、ふえ方をくらべよう」	○	
5	「正多角形をかくプログラムをつくろう」	○	
6	「倍数をみつけるプログラムをつくろう」	○	
(DC・・・デジタルコンテンツ)			
日文	【図形領域】		
	学年	学習場面の数	具体例と数
	1	10	比べる 7
	2	18	調べる 36
	3	16	仲間に分ける 7
	4	34	つくる 28
	5	25	かく 29
	6	14	確かめる 0
			見つける 10
	【プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための活動】		
学年	学習場面	DC	
1	「うごきをわけよう！」		
2	「先生をつくえにたどりつこう！」 「ロボくんへのめいおい書をつくろう！」		
3	「じゃんけんゲームをしよう！」 「三角形の名前あてゲームをしよう！」		
4	「すごろくのルールを図に表そう！」 「アルゴリズムってなあに？」		
5	「正多角形をかくプログラムを考えましょう」	○	
	「今日のラッキーカラーを決めよう！」	○	
6	「ロボくんとお絵かきしよう！」	○	
(DC・・・デジタルコンテンツ)			

【算数】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑥単元や資料等の配列
方 法	○ページ数、単元数、単元内の構成、単元内の配列と分量

発行者	調査・研究内容				
	学 年	ページ数 (上巻・下巻)	単 元 数	単元内の構成	単元内の配列と分量 第4学年「B(2)立方体、直 方体などの立体図形」 (単元準備、たしかめ除く)
東書	1	169 (40・129)	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元プロローグ</li> <li>○ 問題・めあて</li> <li>○ 小発問・解決・まとめ</li> <li>○ 練習問題、補充問題、追加問題 (デジタル)</li> <li>○ 学習のしあげ・いかしてみよう</li> <li>・たしかめよう</li> <li>・つないでいこう算数の目</li> </ul>	○ 箱の形の特ちょうを調べよう
	2	249 (132・117)	17		1 形の特徴に注目して立体を分ける。(2)
	3	278 (151・127)	18		2 面、辺、頂点の数について調べる。(1)
	4	306 (155・151)	14		3 展開図の続きをかいて直方体をつくる。(2)
	5	294 (149・145)	18		4 直方体の面や辺などの関係を調べる。(3)
	6	269	13		5 見取図をかく。(1)
大日本	1	182 (41・141)	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新しい学習がはじまるよ</li> <li>○ 問題・めあて</li> <li>○ 小問題・解決・まとめ</li> <li>○ 練習問題、プラス・ワン、追加問題 (デジタル)</li> <li>○ たしかめ問題</li> <li>・しっかりチェック</li> <li>・単元全体をふりか</li> </ul>	○ 箱の形の特ちょうを調べよう
	2	251	17		1 形の特徴に注目して立体を分ける。(2)
	3	271	18		2 頂点、辺、面の数について調べる。(1)
	4	295	15		3 直方体の展開図をかき、組み立てる。(2)
					4 立方体の展開図をかき、組み立てる。(1)
				5 直方体の面や辺などの関	

		5	293	18	えろろ	係を調べる。(3) 6見取り図をかく。(1) 7平面上の点の位置の表し方を考える。(1) 8空間中の点の位置の表し方を考える。(1)
		6	273	13		
学図		学年	ページ数 (上巻・下巻)	単元数	単元内の構成	単元内の配列と分量 第4学年「B(2)立方体、直方体などの立体図形」 (単元準備、たしかめ除く)
		1	205 (99・106)	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ はてなを発見</li> <li>○ 問題・めあて</li> <li>○ 小問題・解決・まとめ</li> <li>○ 練習問題</li> <li>○ できるようになったこと</li> <li>○ まなびをいかそう</li> <li>○ ふりかえろろ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 箱の形のとくちょうや作り方を調べよう</li> <li>1 形の特徴に注目して立体を分ける。(1)</li> <li>2 頂点、辺、面の数について調べる。(1)</li> <li>3 正しい展開図を選ぶ。(2)</li> <li>4 展開図の続きをかくて直方体をつくる。(1)</li> <li>5 立方体の展開図を考え説明する。(1)</li> <li>6 直方体の面や辺などの関係を調べる。(3)</li> <li>7 見取り図をかく。(2)</li> <li>8 平面上の点の位置の表し方を考える。(2)</li> <li>9 空間中の点の位置の表し方を考える。(1)</li> </ul>
		2	306 (165・141)	22		
		3	319 (149・170)	20		
		4	339 (158・181)	21		
		5	354 (174・180)	21		
		6	260 別冊 48	15 別冊 2		

学年	ページ数 (上巻・下巻)	単 元 数	単元内の構成	単元内の配列と分量
				第4学年「B(2)立方体、直 方体などの立体図形」 (単元準備、たしかめ除く)
1	188	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どんな学習が はじまるかな？</li> <li>○ 問題・めあて</li> <li>○ 小問題・解決・ まとめ</li> <li>○ 練習問題、ステ ップアップ算数</li> <li>○ 学んだことを 使おう</li> <li>○ ふり返ろう、た しかめよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 立体</li> <li>1 形の特徴に注目して立体 を分ける。(2.5)</li> <li>2 囲まれた面について調べ る。(0.5)</li> <li>2 面、頂点、辺の数につい て調べる。(1)</li> <li>3 直方体の面や辺などの関 係を調べる。(3)</li> <li>4 展開図の続きをかいて、 直方体をつくる。(1.5)</li> <li>5 立方体の展開図から垂直 になる面などの関係を調 べる。(0.5)</li> <li>6 見取り図をかく。(1)</li> <li>7 平面上の点の位置の表し 方を考える。(1)</li> <li>8 空間中の点の位置の表し 方を考える。(1)</li> </ul>
2	281 (153・128)	17		
3	306 (160・146)	18		
4	354 (178・176)	17		
5	312	16		
6	290	12		

教出



学年	ページ数 (上巻・下巻)	単元数	単元内の構成	単元内の配列と分量
				第4学年「B(2)立方体、直方体などの立体図形」 (単元準備、たしかめ除く)
1	192 (48・144)	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ じゅんぴ</li> <li>○ 問題・めあて</li> <li>○ 小問題・解決・まとめ</li> <li>○ 練習問題、もっと練習</li> <li>○ 学びのまとめ</li> <li>・たしかめよう</li> <li>・ふりかえろう</li> <li>・やってみよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 直方体と立方体</li> <li>1 面の形に注目して立体を調べる。(1)</li> <li>2 展開図をかいて、直方体を組み立てる。(2)</li> <li>3 展開図をかいて、立方体を組み立てる。(1)</li> <li>4 直方体の面や辺などの関係を調べる。(3)</li> <li>5 見取り図をかく。(2)</li> <li>6 平面上の点の位置の表し方を考える。(2)</li> <li>7 空間中の点の位置の表し方を考える。(1)</li> </ul>
2	271 (136・135)	17		
3	276 (147・129)	20		
4	293 (161・132)	16		
5	281	18		
6	271	13		

啓林館

学年	ページ数 (上巻・下巻)	単元数	単元内の構成	単元内の配列と分量
				第4学年「B(2)立方体、直方体などの立体図形」 (単元準備、たしかめ除く)
1	193 (46・147)	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次の学習のために</li> <li>○ 問題・めあて</li> <li>○ 小問題・解決・まとめ</li> <li>○ 練習問題、練習(デジタル)</li> <li>○ 学習をたしかに</li> <li>・わかっているかな</li> <li>・たしかめよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろな箱の形を調べよう</li> <li>1 形の特徴に注目して立体を分ける。(2)</li> <li>2 頂点、辺、面の数について調べる。(1)</li> <li>3 見取り図をかく。(1)</li> <li>4 展開図の続きをかいて、直方体をつくる。(1)</li> <li>5 展開図の続きをかいて立方体を組み立てる。(1)</li> <li>6 直方体の面や辺などの関係を調べる。(3)</li> <li>7 平面上の点の位置の表し方を考える。(1)</li> <li>8 空間中の点の位置の表し方を考える。(1)</li> </ul>
2	301 (161・140)	17		
3	317 (170・147)	18		
4	338 (167・171)	17		
5	325	17		
6	295	14		

日文



	例 [0.25] ○ 階級の幅、代表値、相対度数 [0.25] ○ 確率 [0.25]	Dデータの活用(1) Dデータの活用(2)	第1学年Dデータの活用(1) 第2学年Dデータの活用(2)
	合計 12.25ページ		
学図	第6学年 発展的な学習に関する事例 [ページ数]	学習指導要領の内容	中学校の主な学習内容との関連
	○ 方程式 [0.5] ○ 階級の幅 [2] ○ 四則の可能性 [2] ○ 角錐と角柱、円錐と円柱の体積比 [1] ○ 角柱、円柱の体積 [2] ○ 扇形の面積 [1] ○ 正負の数 [2] ○ 正負の数の加減 [2] ○ 文字式、方程式 [4] ○ 垂線の作図 [3] ○ 角の二等分線の作図 [1] ○ 伴って変わる量とグラフ [7] ○ データ分析 [4]	A数と計算(2) Dデータの活用(1) A数と計算(1) B図形(4) B図形(4) B図形(3) A数と計算(1) A数と計算(1) A数と計算(2) B図形(1) B図形(1) C変化と関係(1) Dデータの活用(1)	第1学年A数と式(3) 第1学年Dデータの活用(1) 第1学年A数と式(1) 第1学年B図形(2) 第1学年B図形(2) 第1学年B図形(2) 第1学年A数と式(1) 第1学年A数と式(1) 第1学年A数と式(2)(3) 第1学年B図形(1) 第1学年B図形(1) 第2学年C関数(1) 第1学年Dデータの活用(1)
	合計 31.5ページ		
教出	第6学年 発展的な学習に関する事例 [ページ数]	学習指導要領の内容	中学校の主な学習内容との関連
	○ 扇形の面積 [0.25] ○ 反比例のグラフ [0.5] ○ 面を動かしてできる立体 [0.25] ○ 円柱と角柱の体積、表面積 [1] ○ 立体の表面積 [0.25] ○ 時間と進んだ道のりを表	B図形(3) C変化と関係(1) B図形(4) B図形(4) B図形(4) C変化と関係(1)	第1学年B図形(2) 第1学年C関数(1) 第1学年B図形(2) 第1学年B図形(2) 第1学年B図形(2) 第2学年C関数(1)

	したグラフ [1] ○ 0より小さい数 [1] ○ 方眼にかいた正方形の1辺の長さ [1] ○ 直角三角形の辺の性質 [1] ○ 平方と立法 [1] ○ さいころの目の出やすさ [1]  ○ 国でちがう数の表し方 [1] ○ 並べ方と組合せ [1]	A数と計算(1) A数と計算 B図形  A数と計算 B図形  A数と計算 B図形 Dデータの活用(2)  A数と計算  Dデータの活用(2)	第1学年A数と式(1) 第3学年A数と式(1)  第3学年B図形(3)  第1学年A数と式(1) 第1学年Dデータの活用(2) 第2学年Dデータの活用(2)  全学年A数と式  第1、2学年Dデータの活用
	合計 10.25ページ		

啓林館	第6学年	学習指導要領の内容	中学校の主な学習内容との関連
	発展的な学習に関する事例 [ページ数]		
	○ 文字と式 [0.75] ○ 場合の数 [0.75]	A数と計算(2) Dデータの活用(2)	第1学年A数と式(2) 第2学年Dデータの活用(2)
	○ 角錐と角柱の体積比 [0.75] ○ 最大値・最小値・範囲 [0.25] ○ 階級の幅 [1]	B図形(4) Dデータの活用(1) Dデータの活用(1)	第1学年B図形(2) 第1学年Dデータの活用(1) 第1学年Dデータの活用(1)
	○ いろいろな変わり方のグラフ [0.5] ○ 反比例のグラフ [0.25] ○ 0より小さい数 [0.75] ○ 同じ数を何度もかける計算 [0.75] ○ 図形の性質、証明 [0.75] ○ 伴って変わる数量の関係 [0.5] ○ 事柄の起こりやすさ [0.75]	C変化と関係(1) C変化と関係(1) A数と計算(1) A数と計算(2) B図形(1) C変化と関係(1) Dデータの活用(2)	第2学年C関数(1) 第1学年C関数(1) 第1学年A数と式(1) 第1学年A数と式(1)(2) 第2学年B図形(1)(2) 第1学年C関数(1) 第2学年Dデータの活用(2)
	合計 7.75ページ		

	第6学年	学習指導要領の 内容	中学校の 主な学習内容との関連
	発展的な学習に関する事例 [ページ数]		
日文	○ 反比例のグラフ [0.5]	C 変化と関係(1)	第1学年 C 関数(1)
	○ 扇形の弧の長さや中心角の 関係 [1]	B 図形	第1学年 B 図形(2)
	○ 文字を使った式 [1]	A 数と計算(2)	第2学年 A 数と式(1)
	○ 反対の性質の量の表し方 [1]	A 数と計算	第1学年 A 数と式(1)
	○ 分数では表せない数 [1]	A 数と計算	第1学年 A 数と式(1)
	○ 文字を使った式 [1]	A 数と計算(2)	第1学年 A 数と式(2)
	○ 等式の性質 [1]	A 数と計算	第1学年 A 数と式(3)
	○ 扇形の弧の長さや面積 [1]	B 図形(3)	第1学年 B 図形(2)
	○ 図形の証明 [1]	B 図形	第2学年 B 図形(2)
	○ 確率 [1]	D データの活用(2)	第1学年 D データの活用 (2)
○ 二進数 [2]	A 数と計算	全学年 A 数と式	
合計	11.5 ページ		

【算数】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑧イラスト・写真・吹き出し等の活用
方 法	○キャラクター等の活用、視覚資料の扱い、図・表等の扱い、デジタルコンテンツの扱い

発行者	調査・研究内容		
東書	キャラクター等の活用	第6学年 「D データの活用」 視覚資料の扱い 図・表等の扱い	デジタルコンテンツ の扱い
	○ キャラクター等 ・ますりん ・6人の児童	<p><b>導入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長縄の8の字跳びの様子をイラストで表現</li> <li>・1、2、3組の3つのデータを比較</li> </ul> <p><b>ドットプロット</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>\textcircled{\text{数}}</math>で表す</li> </ul> <p><b>いろいろなグラフ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の少子化、高齢化について、2つの資料（横向き・縦向き）の棒グラフ、折れ線グラフ）で考察</li> <li>・列車の運行状況のグラフ</li> <li>・荷物の配達料金のグラフ</li> </ul> <p><b>PPDAC サイクル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストを使って、1ページに集約している。</li> </ul>	<p>○ デジタルコンテンツの数 1470</p> <p>1年 32 2年 241 3年 301 4年 330 5年 337 6年 229</p> <p>○ デジタルコンテンツの内容 動画、シミュレーション、演習など</p>
大日本	キャラクター等の活用	第6学年 「D データの活用」 視覚資料の扱い 図・表等の扱い	デジタルコンテンツ の扱い

	<p>○ キャラクター等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラビちゃん</li> <li>・6人の児童</li> </ul>	<p><b>導入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書についての図書委員会での話合いの様子をイラストで表現</li> <li>・10年前と今年の2つのデータを比較</li> </ul> <p><b>ドットプロット</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○で表す</li> </ul> <p><b>いろいろなグラフ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の少子化、高齢化について、2つの資料（横向き・縦向きの棒グラフ、折れ線グラフ）で考察</li> <li>・これまでに学習したグラフについてのまとめ</li> </ul> <p><b>PPDAC サイクル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストを使って、2ページに集約している。</li> </ul>	<p>○ デジタルコンテンツの数 1448</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年 137</li> <li>2年 203</li> <li>3年 272</li> <li>4年 260</li> <li>5年 308</li> <li>6年 268</li> </ul> <p>○ デジタルコンテンツの内容</p> <p>練習問題、シミュレーション、アニメーションなど</p>
--	---	--	---

<p>学図</p>	<p>キャラクター等の活用</p>	<p>第6学年 「D データの活用」 視覚資料の扱い 図・表等の扱い</p>	<p>デジタルコンテンツの扱い</p>
	<p>○ キャラクター等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卵型のキャラクター</li> <li>・4人の児童</li> <li>・複数のモンスター</li> </ul>	<p><b>導入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テストについて回想している様子や今の子どもが10年前の子どもより体力が落ちていることを疑問に思う様子をイラストで表現</li> <li>・15年前と今年の2つのデータを比較</li> </ul> <p><b>ドットプロット</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○で表す</li> </ul> <p><b>いろいろなグラフ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室で集めたデータについて、4つの資料（棒グラフ、帯グラフ、円グラフ、ヒストグラム）で考察</li> </ul> <p><b>PPDAC サイクル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストを使って、1ページに集約している。</li> </ul>	<p>○ デジタルコンテンツの数 610</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年 90</li> <li>2年 122</li> <li>3年 117</li> <li>4年 95</li> <li>5年 116</li> <li>6年 70</li> </ul> <p>○ デジタルコンテンツの内容</p> <p>動画、シミュレーション、復習、資料、練習問題など</p>

教出	キャラクター等の活用	第6学年 「D データの活用」 視覚資料の扱い 図・表等の扱い	デジタルコンテンツの扱い
	○ キャラクター等 ・どんちゃん、ぐりちゃん ・6人の児童	<b>導入</b> ・読書についての図書委員会での話し合いをイラストで表現 ・1組と2組の2つのデータを比較 <b>ドットプロット</b> ・ <b>数</b> で表す <b>いろいろなグラフ</b> ・日本の年齢別の人口について、3つの資料（横向きの棒グラフ、縦向きの棒グラフ、折れ線グラフ）で考察 <b>PPDAC サイクル</b> ・イラストを使って、1ページに集約している。	○ デジタルコンテンツの数 591 1年 16 2年 87 3年 119 4年 157 5年 119 6年 93 ○ デジタルコンテンツの内容 まとめアニメーション、フラッシュカード、シミュレーション、表計算ソフト、プログラミング教材など
啓林館	キャラクター等の活用	第6学年 「D データの活用」 視覚資料の扱い 図・表等の扱い	デジタルコンテンツの扱い
	○ キャラクター等 ・えんぴつくん ・8人の児童	<b>導入</b> ・大縄跳び大会の様子をイラストで表現 ・赤、青、黄の3チームのデータを比較 <b>ドットプロット</b> ・○で表す <b>いろいろなグラフ</b> ・日本の人口について、3つの資料（横向きの棒グラフ、折れ線グラフ、帯グラフ）で考察 <b>PPDAC サイクル</b> ・イラストを使って、2ページに集約している。	○ デジタルコンテンツの数 1614 1年 259 2年 276 3年 295 4年 306 5年 268 6年 210 ○ デジタルコンテンツの内容 動かす、動画、解説動画、問題、スライドなど




	キャラクター等の活用	第6学年 「D データの活用」	デジタルコンテンツの扱い
		視覚資料の扱い 図・表等の扱い	
日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター等</li> <li>・ クリン</li> <li>・ 6人の児童</li> </ul>	<p><b>導入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 400mリレーの練習記録を基に3名の児童の疑問を吹き出しで表現</li> <li>・ AチームとBチームの2つのチームのデータを比較</li> </ul> <p><b>ドットプロット</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数、○で表す</li> </ul> <p><b>いろいろなグラフ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本の人口について、横向きの棒グラフ（人口ピラミッド）で考察</li> </ul> <p><b>PPDAC サイクル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イラストを使って、8ページに集約している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ デジタルコンテンツの数 838</li> <li>ヒントと答え 263</li> <li>動かす 139</li> <li>見る 197</li> <li>確認 22</li> <li>Web 22</li> <li>ブロック 36</li> <li>聞く 11</li> <li>練習 148</li> <li>○ デジタルコンテンツの内容</li> <li>動画、アニメーション、シミュレーション、問題、ヒントなど</li> </ul>

【算数】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑨数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫
方 法	○学習の流れと説明したり話し合ったりする活動の具体例

発行者	調査・研究内容	
東書	学習の流れ	説明したり話し合ったりする活動の具体例 第4学年の「図形の面積」L字型の図形の面積の求め方
	○ 学びのとびら 「今日の問題」 「学習のめあて」 「考えるときの手がかかり」 「大切な見方・考え方」 「学習のまとめ」 「練習問題」	○ 下のような形の面積を求めましょう。(方眼上にある) ①L字型(図で表記)はどのような形といえますか。 ②自分の考えを、図や式を使ってかきましょう。 ③こうたさんとしほさんの考えで、自分の考えとにているものはありますか。にているところを説明しましょう。 ④こうたさんとしほさんの考えで、自分の考えとはちがう考えを読み取って、説明しましょう。 ⑤次のページのはるとさんの考えを説明しましょう。 ⑥L字型(図で表記)のような形の面積を求めるとき、大切なのはどのような考えですか。 <b>【練習問題】</b> ・下のような形の面積を、いろいろな方法で求めましょう。
大日本	学習の流れ	説明したり話し合ったりする活動の具体例 第4学年の「図形の面積」L字型の図形の面積の求め方
	○ 算数の学び方 「問題をつかもう」 「自分で考えよう」 「学び合おう」 「まとめよう 使ってみよう」 「ふりかえろう」	○ 右のような形の面積を求めましょう。(辺の長さが与えられている) ①287ページの図を使って、自分の考えをかきましょう。 ②自分の考えを発表しましょう。また、友達が考えた式や図を読み取って、どのような考えか説明しましょう。 ③ゆいさんは、右の式で面積を求めました。どのように考えたのか説明しましょう。 ④考えのよいところやにているところについて話し合しましょう。 <b>【練習問題】</b> ・右のような形の面積を求めましょう。

学図	<p>学習の流れ</p> <p>○ みんなと学ぼう！ 算数の学び方 「問題」 「めあて」 「練習問題」 「まとめ」 「次の学びにつながる？」</p>	<p>説明したり話し合ったりする活動の具体例 第4学年の「図形の面積」L字型の図形の面積の求め方</p> <p>○ 右の図形の面積は、何<math>\text{cm}^2</math>ですか。(方眼上にある)</p> <p>①次の4人の考えを説明しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1<math>\text{cm}^2</math>の正方形の数を数えます。</li> <li>・2つの長方形に分けて計算します。</li> <li>・大きい長方形を考えて、へこんだところをひいて計算します。</li> <li>・動かして1つの長方形にして計算します。</li> </ul> <p>②①の考えで、いつでも使える考えはどれですか。</p> <p>【練習問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・右の図形の面積は、何<math>\text{cm}^2</math>ですか。求め方を考えましょう。</li> </ul>
	教出	<p>学習の流れ</p> <p>○ みんなで算数をはじめよう！ 「問題をつかむ」 「自分の考えをもつ」 「話し合って深める」 「ふり返ってまとめる」 「比べてつなげる」 「広げて考える」</p>
啓林館		<p>学習の流れ</p> <p>○ 算数のとびら 算数の学習の進め方 「どんな問題かな」 「自分で考えよう」 「みんなで話しあおう」 「たしかめよう、ふりかえろう」</p>

日 文	学習の流れ	説明したり話し合ったりする活動の具体例 ・第4学年の「図形の面積」L字型の図形の面積の求め方
	○ 算数の学習をはじめよう！ 「どんな問題かな」 「考えよう」 「学び合おう」 「ふり返ろう」	○ 右のような形の面積は、何 $\text{cm}^2$ ですか。(方眼上にある) ①L字型(図で表記)のような形の面積の求め方について自分の考えをかきましょう。 ②考えを発表し、L字型(図で表記)のような形の面積の求め方について話し合しましょう。 ・ゆいさんはどのような考え方で面積を求めたのか、式を見て説明しましょう。 ・さくらさんはどのような考え方で面積を求めたのか、図や式を見て説明しましょう。 ③今日の学習をふり返って、わかったことをまとめましょう。 <b>【練習問題】</b> ・右のような形の面積を求めるのに、ひまりさんは次の式で計算しました。どのように考えて求めたのか、  から②の図の中から選びましょう。

【算数】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑩思考を深めるための記述の工夫
方 法	○ノート指導の扱いと記載例、ページ数

発行者	調査・研究内容			
東書	ノート指導の扱い	記載例 (第6学年)	学 年	ペー ジ 数
	○ 特設ページ 「算数マイノート をつくろう」「算 数マイノートを学 習に生かそう」を 設け、実際の児童 のノートを例示 し、書き方のポイ ントや学習感想の 視点を示してい る。	○ 日付、問題、自分の考え、友だちの考え、 まとめ、学習感想 ○ 学習感想には、自分の成長を確かめるために、 ・わかったこと ・次に考えてみたいこと ・できるようになったこと ・友だちの考えをきいて思ったこと などを書 きます。 ○ コンピューターを使って考えたときは、考え たことを整理して書こう。	1	0
			2	4
			3	4
			4	4
			5	4
			6	4
大日本	ノート指導の扱い	記載例 (第6学年)	学 年	ペー ジ 数
	○ 特設ページ第 1学年は「ノー トにまとめよ う」、第2学年か ら第6学年は 「ノートのかき 方の例」を設け 実際の児童のノ ートを例示し、 書き方のポイン トや学習の振り 返りの視点を示 している。	○ 日付、ページ数、問題、めあて、見通し、自 分の考え、友だちの考え、まとめ、問題、ふり かえり <ふりかえりのポイント> ・新しくわかったこと ・友だちの考えのよかったところ ・便利だな、すごいなと思ったこと ・次に考えてみたいこと	1	1
			2	2
			3	2
			4	2
			5	2
			6	2

学図	ノート指導の扱い	記載例 (第6学年)	学年	ページ数
	○ 特設ページ「ノート名人になろう」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントや振り返りの視点を示している。	○ 学習した日、問題、めあて、自分の考え、友だちの考え、まとめ、ふりかえり、次にやってみたいこと ○ 今日の学びをふりかえって、 ・わかったこと ・気がついたこと ・できるようになったこと ・わからなかったこと を書いておこう。	1	0
			2	2
			3	2
			4	2
			5	2
			6	2
教出	ノート指導の扱い	記載例 (第6学年)	学年	ページ数
	○ 特設ページ「友だちのノートを見てみよう」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントや感想の視点を示している。	○ 日付、問題、ページ数、式、㊦はてな、自分の考え、友だちの考え・気づき、まとめ、㊧なるほど、感想 ○ 感想 ・新しくわかったこと ・がんばって考えたこと ・いいなと思った考え方 ・これまでの学習とつなげられること ・㊦が㊧に変わったこと ・もっとやってみたいこと ○ 考えたことをコンピューターを使って書いたり、伝えたりしてもいいね。	1	0
			2	4
			3	4
			4	4
			5	4
			6	4

啓林館	ノート指導の扱い	記載例 (第6学年)	学 年	ページ 数
	○ 特設ページ 「算数ノートをつ くろう」を設け、 実際の児童のノー トを例示し、書き 方のポイントを示 している。	○ 学習した日、問題、めあて、自分の考え、友だ ちの考え、まとめ、ふりかえり ○ まとめ ふりかえり 学習をふりかえって、まとめや感想をかこう。	1	0
			2	1
			3	1
			4	1
			5	1
			6	1
日文	ノート指導の扱い	記載例 (第6学年)	学 年	ページ 数
	○ 特設ページ 「算数ノートをつ くろう」を設け、 実際の児童のノー トを例示し、書き 方のポイントやふ り返りの視点を示 している。	○ 日付、問題、めあて、見通し、自分の考え、 友だちの考え、メモ、まとめ、ふり返り ○ ふり返り 自分や友達の考えのよかったところやもっと 知りたいことをかく。	1	2
			2	4
			3	4
			4	4
			5	2
			6	2

令和5年 7月27日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員

種目 理科

代表者 呉市立明彦小 学校

氏名 西宮 清信

呉市教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））調査・研究  
報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。



【理科】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①単元の目標とまとめの示し方
方 法	○単元のねらいの示し方、単元末のまとめの扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【単元のねらいの示し方】</p> <p>○ 問題をつかむための活動「レッツトライ！」を設け、「～考えよう。」「～してみよう。」等の呼び掛けの形で問題等を提示している。また、対話しているイラスト等を用いて、学習の視点等を示している。</p> <p>【単元末のまとめの扱い】</p> <p>○ 単元末に「ふりかえろう」を設け、学習内容をまとめている。また、学習内容の定着を図るための「たしかめよう」を設けるとともに、最後には、「学んだ後に○○について、知っていることをかこう。」と呼び掛けている。</p>
大日本	<p>【単元のねらいの示し方】</p> <p>○ 生活や自然の中での事物・現象の写真を示し、「～気付いたことを話し合いましょう。」等の呼び掛けの形で問題を見いださせている。また、イラストを用いて、学習の視点等を示している。</p> <p>【単元末のまとめの扱い】</p> <p>○ 単元末に学習内容の定着を図るための「確かめよう」や「学んだことを生かそう」を設けている。また、単元でできるようになったこと等について文章で説明させるために「ふり返ろう」を設けている。</p>
学図	<p>【単元のねらいの示し方】</p> <p>○ 「～しましょう。」等の呼び掛けの形や「～でしょうか。」と問い掛けの形等で問題を提示している。また、イラストを用いて「～かな。」等の問い掛けの形で、問題を提示している。</p> <p>【単元末のまとめの扱い】</p> <p>○ 単元末に学習内容の定着を図るための「ふりかえろう」を設け、単元によっては、最後に「活用 学びを生かそう」を設けている。また、「できるようになった」を設け、単元でできるようになったことの例を示している。</p>
教出	<p>【単元のねらいの示し方】</p> <p>○ 単元の冒頭において、イラストを用いた「～かな？」等の問い掛けの形で問題を提示している。また、既習事項や生活の中での事象を想起させている。</p> <p>【単元末のまとめの扱い】</p> <p>○ 単元末に「ふり返ろう」を設け、学習内容をまとめ、「新しく学習した言葉」を示している。また、学習内容の定着を図るための、「確かめよう」を設けている。さらに、学習の前後で考えが変容した例を示している。</p>
信教	教科書見本がないため、分からない。

啓林館	<p><b>【単元のねらいの示し方】</b></p> <p>○ 「調べてみましょう。」等の呼び掛けの形や「～でしょうか。」等の問い掛けの形で問題を提示している。また、「思い出そう」で既習事項や生活の中での事象を想起させている。</p> <p><b>【単元末のまとめの扱い】</b></p> <p>○ 単元末の「ふり返ろう まとめノート」で、学習内容をまとめ、「新しく学習した言葉」を示している。また、学習した内容の定着を図るための「たしかめよう」「活用しよう」「もう一度 考えよう」を設けている。</p>
-----	--

【理科】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫
方 法	○日常生活や社会との関連付けを図る内容の扱い、補充的な学習や発展的な学習の分量、ものづくりの数

発行者	調査・研究内容			
東書	【日常生活や社会との関連付けを図る内容の扱い】			
	○ 「こんなところにも！理科の世界探検部」で、学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。また「広げよう！理科の発想」で、日常生活での現象を取り上げ、説明させている。			
	【補充的な学習や発展的な学習の分量、ものづくりの数】			
	学年	補充的な学習 (ページ数) 「たしかめよう」	発展的な学習 (ページ数) 「はってん」	ものづくりの数
	3	9	2.5	10
4	11	2.5	4	
5	9	2.5	6	
6	9	1.5	6	
大日本	【日常生活や社会との関連付けを図る内容の扱い】			
	○ 「りかのたまてばこ」において、学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。「学んだことを生かそう」では、日常での現象を取り上げ、説明させている。			
	【補充的な学習や発展的な学習の分量、ものづくりの数】			
	学年	補充的な学習 (ページ数) 「確かめよう」 「学んだことを生かそう」	発展的な学習 (ページ数) 「サイエンスワールド」 「はってん」	ものづくりの数
	3	18.5	4.75	17
4	16	9	8	
5	16.5	5.5	7	
6	17.75	10	5	
学図	【日常生活や社会との関連付けを図る内容の扱い】			
	○ 「もっとしりたい」において、学習内容が仕事や生活に生かされている様子を掲載している。「やってみよう」では、日常生活での現象を取り上げ、説明させている。			
	【補充的な学習や発展的な学習の分量、ものづくりの数】			
	学年	補充的な学習 (ページ数) 「ふりかえろう」 「できるようになった」	発展的な学習 (ページ数) 「はってん」	ものづくりの数
	3	12	2.75	14
4	11.5	1.75	5	
5	14.75	6.5	5	
6	13	4.75	7	

教出	【日常生活や社会との関連付けを図る内容の扱い】			
	○ 「資料」や「科学のまど」において、学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。「学びを広げよう」では、日常生活での現象を取り上げ、説明させている。			
	【補充的な学習や発展的な学習の分量、ものづくりの数】			
	学年	補充的な学習 (ページ数) 「確かめよう」	発展的な学習 (ページ数) 「はってん」	ものづくりの数
	3	11.5	2.25	9
4	12	3.25	7	
5	9	5.75	7	
6	9	4.75	3	
信教	教科書見本がないため、分からない。			
啓林館	【日常生活や社会との関連付けを図る内容の扱い】			
	○ 「理科の広場」や「くらしとリンク」において、学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。また、「活用しよう」で、日常生活での現象を取り上げ、説明させている。			
	【補充的な学習や発展的な学習の分量、ものづくりの数】			
	学年	補充的な学習 (ページ数) 「たしかめよう」 「活用しよう」	発展的な学習 (ページ数) 「発展」	ものづくりの数
	3	10	3.75	9
4	10	3	5	
5	12	4.5	5	
6	11	7.5	3	

【理科】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	③観察・実験の技能を習得させるための工夫
方 法	○問題解決のための観察・実験の数、観察・実験の準備と手順の扱い、観察・実験における安全確保の工夫、実験用ガスコンロの操作の扱い

発行者	調査・研究内容										
東書	<p>【観察・実験の数】</p> <table border="1"> <tr> <td>学年</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>26</td> <td>32</td> <td>21</td> <td>25</td> </tr> </table> <p>【観察・実験の準備と手順の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備物の記載がある。</li> <li>○ 番号で手順を示し、写真や図等を用いて説明している。</li> <li>○ 器具の使い方を巻末に掲載している。</li> </ul> <p>【観察・実験における安全確保の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全に対して配慮が必要な箇所に、「きけん」マークを付し、意味や対処の仕方を赤字で示している。</li> </ul> <p>【実験用ガスコンロの操作の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「実験用ガスコンロの使い方」において、1ページで示している。</li> <li>○ 点検、着火、調節、消火の手順を写真10点で示している。</li> <li>○ 「きけん」マークで4項目を示している。</li> </ul>	学年	3	4	5	6	数	26	32	21	25
学年	3	4	5	6							
数	26	32	21	25							
大日本	<p>【観察・実験の数】</p> <table border="1"> <tr> <td>学年</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>24</td> <td>37</td> <td>21</td> <td>16</td> </tr> </table> <p>【観察・実験の準備と手順の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備物の記載はないが、二次元コードで示している。</li> <li>○ 番号で手順を示し、写真や図等を用いて説明している。</li> <li>○ 器具の使い方を巻末に掲載している。</li> </ul> <p>【観察・実験における安全確保の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全に対して配慮が必要な箇所に、「注意」マークを付し、赤線で枠を設け、意味や対処の仕方を赤字で示している。</li> </ul> <p>【実験用ガスコンロの操作の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「使い方を覚えよう」において、1ページで示している。</li> <li>○ 点検、着火、調節、消火の手順を写真6点で示している。</li> <li>○ 「注意」マークで4項目を示している。</li> </ul>	学年	3	4	5	6	数	24	37	21	16
学年	3	4	5	6							
数	24	37	21	16							
学図	<p>【観察・実験の数】</p> <table border="1"> <tr> <td>学年</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>34</td> <td>37</td> <td>21</td> <td>28</td> </tr> </table> <p>【観察・実験の準備と手順の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備物の記載がある。</li> <li>○ 番号で手順を示し、写真や図等を用いて説明している。</li> <li>○ 器具の使い方を巻末に掲載している。</li> </ul>	学年	3	4	5	6	数	34	37	21	28
学年	3	4	5	6							
数	34	37	21	28							

	<p><b>【観察・実験における安全確保の工夫】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全に対して配慮が必要な箇所に、「注意」マークを付し、意味や対処の仕方を赤字で示している。</li> </ul> <p><b>【実験用ガスコンロの操作の扱い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「考えよう 調べよう」において、1ページで示している。</li> <li>○ 点検、着火、調節、消火の手順を写真9点とイラスト、二次元コードで示している。</li> <li>○ 「注意」マークで3項目を示している。</li> </ul>										
教出	<p><b>【観察・実験の数】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>学年</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> </table> <p><b>【観察・実験の準備と手順の扱い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備物の記載がある。</li> <li>○ 番号と矢印で手順を示し、写真や図等を用いて説明している。</li> <li>○ 器具の使い方を巻末に掲載している。</li> </ul> <p><b>【観察・実験における安全確保の工夫】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全に対して配慮が必要な箇所に、「注意」マークや「危険」マークを付し、意味や対処の仕方を赤字で示している。</li> </ul> <p><b>【実験用ガスコンロの操作の扱い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「使い方・調べ方」において、1ページで示している。</li> <li>○ 点検、着火、調節、消火の手順を写真7点と二次元コードで示している。</li> <li>○ 「きけん」マークで2項目を示している。</li> </ul>	学年	3	4	5	6	数	29	33	25	25
学年	3	4	5	6							
数	29	33	25	25							
信教	教科書見本がないため、分からない。										
啓林館	<p><b>【観察・実験の数】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>学年</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>27</td> <td>34</td> <td>22</td> <td>25</td> </tr> </table> <p><b>【観察・実験の準備と手順の扱い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備物の記載がある。</li> <li>○ 番号と点線で手順を示し、写真や図等を用いて説明している。</li> <li>○ 手順と合わせて、初めて使う器具について同ページに掲載している。</li> </ul> <p><b>【観察・実験における安全確保の工夫】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全に対して配慮が必要な箇所に、「注意」マークを付し、意味や対処の仕方を赤字で示している。また、「かん気」や「やけど」等のマークを付している。</li> </ul> <p><b>【実験用ガスコンロの操作の扱い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ものの温度と体積」において、半ページで示している。</li> <li>○ 点検、着火、調節、消火の手順を写真6点と二次元コードで示している。</li> <li>○ 「注意」マークで1項目を示している。</li> </ul>	学年	3	4	5	6	数	27	34	22	25
学年	3	4	5	6							
数	27	34	22	25							

【理科】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④興味・関心を高めるための工夫
方 法	○興味・関心をもたせるための問題の数、単元の導入の工夫

発行者	調査・研究内容				
東書	【興味・関心をもたせるための問題の数】				
	学年	3	4	5	6
	問題数	28	34	20	31
	【単元の導入の工夫】				
	第3学年「身の回りの生物」における単元の導入の工夫				
	単元名	春の生き物			
単元の導入のための写真やイラストの内容	○ 植物や動物の写真と野原で児童が写っている見開き写真 ○ 児童が話し合っているイラスト				
単元の導入の問いかけ等	○ どんな色や形、大きさの生き物を見つけたか、たがいに発表し合ひましょう。				
キャラクターの吹き出し等の内容と数	○ 見つけた生き物のすがたを、くらべてみよう。 (他 3)				
大日本	【興味・関心をもたせるための問題の数】				
	学年	3	4	5	6
	問題数	21	26	21	23
	【単元の導入の工夫】				
	第3学年「身の回りの生物」における単元の導入の工夫				
	単元名	しぜんのかんさつ			
単元の導入のための写真やイラストの内容	○ 校庭の植物や動物、児童が描かれた見開きイラスト ○ 児童が伝え合ったり、話し合ったりしているイラストや生物の写真				
単元の導入の問いかけ等	○ 春になりました。校庭で植物や動物などの生きものをさがして、そのすがたをよく見てみましょう。生きもののすがたについて気づいたことを話し合ひましょう。				
キャラクターの吹き出し等の内容と数	○ 生きもののすがたをくらべてみよう。 (他 11)				

学図	【興味・関心をもたせるための問題の数】				
	学年	3	4	5	6
	問題数	31	36	26	36
	【単元の導入の工夫】				
	第3学年「身の回りの生物」における単元の導入の工夫				
	単元名	しぜんのかんさつ			
	単元の導入のための写真やイラストの内容	<input type="checkbox"/> 植物を児童が観察している見開き写真と児童が観察している写真 <input type="checkbox"/> 多様な場所の植物や児童が写っている写真や人物イラスト			
	単元の導入の問いかけ等	<input type="checkbox"/> 春になり、校庭や野原にはいろいろな花がさき、虫や鳥なども見られるようになりました。どのようなところに、どのような生き物が見られるでしょうか。			
	キャラクターの吹き出し等の内容と数	<input type="checkbox"/> ほかの生き物も、くらべるとちがいがありそうですね。 (他 10)			
教出	【興味・関心をもたせるための問題の数】				
	学年	3	4	5	6
	問題数	33	35	21	29
	【単元の導入の工夫】				
	第3学年「身の回りの生物」における単元の導入の工夫				
	単元名	生き物を調べよう			
	単元の導入のための写真やイラストの内容	<input type="checkbox"/> 植物を児童が観察している写真や定規を植物に当てている写真 <input type="checkbox"/> 教師や児童が話し合っているイラストや生物の写真			
	単元の導入の問いかけ等	<input type="checkbox"/> 春になって、校庭や野原には、タンポポなどの花がたくさん見られるようになりました。身のまわりでよく見られるタンポポは、どのようなすがたをしているかを思い出して、話し合みましょう。			
	キャラクターの吹き出し等の内容と数	<input type="checkbox"/> ほかにも、いろいろな植物や虫などが見られるようになったね。それぞれどんなすがたをしているのかな？ (他 8)			
信教	教科書見本がないため、分からない。				



啓林館	<b>【興味・関心をもたせるための問題の数】</b>				
	学年	3	4	5	6
	問題数	28	36	26	33
	<b>【単元の導入の工夫】</b>				
	第3学年「身の回りの生物」における単元の導入の工夫				
	単元名	生き物をさがそう			
	単元の導入のための写真やイラストの内容	<input type="radio"/> 児童が植物を観察している見開き写真や動物・植物に分けたイラスト <input type="radio"/> 多様な植物や動物を児童が観察しているイラスト、児童が話し合っている写真等			
	単元の導入の問いかけ等	<input type="radio"/> あたたくくなって、いろいろな花がさき、虫が見られるようになりました。校庭や野原に出かけて、生き物をさがしてみましよう。			
	キャラクターの吹き出し等の内容と数	<input type="radio"/> 動物も植物もどちらも同じ「生き物」だよ。 (他 5)			

【理科】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤問題解決の力を育成するための工夫
方 法	○学習の進め方の示し方、問題解決の過程の示し方、問題発見の工夫、問題解決の力の育成の扱い

発行者	調査・研究内容													
東書	<p>【学習の進め方の示し方（第6学年）】</p> <p>○ 巻頭「理科の学び方」で示している。</p> <p>【問題解決の過程の示し方】</p> <p>① 問題をつかむ ・レッツトライ ・問題をつかもう</p> <p>② 調べる ・問題 ・予想しよう ・計画しよう ・観察・実験 ・観察・実験の結果</p> <p>③ まとめる ・考察しよう ・のぼそう！理科の力 ・まとめ ・広げよう！理科の発想 ・次の問題を見つけよう ・理科の世界探検部</p> <p>【問題発見の工夫】</p> <p>～第4学年「空気と水の性質」～</p> <p>○ 単元の冒頭に袋に空気を閉じ込めて押ししたり、空気鉄砲に玉をつめて飛ばしたりして活動する様子の写真やイラスト、吹き出し、文を掲載している。</p> <p>【問題解決の力の育成の扱い】</p> <p>～第5学年「植物の発芽と成長」における「条件に目を向けて調べる」～</p> <p>○ 変える条件、変えない条件を区分して条件制御の視点を示すとともに、表中に結果の見通しを位置付けている。</p> <table border="1" data-bbox="354 1339 1380 1599"> <thead> <tr> <th>変える条件</th> <th colspan="2">変えない条件</th> <th rowspan="2">結果の見通し</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>水</th> <th>空気</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アマワリの空気の温度と同じ。</td> <td rowspan="2">あたえる。</td> <td rowspan="2">ふれている。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イマワリの空気より温度を低くする。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	変える条件	変えない条件		結果の見通し	温度	水	空気	アマワリの空気の温度と同じ。	あたえる。	ふれている。		イマワリの空気より温度を低くする。	
変える条件	変えない条件		結果の見通し											
温度	水	空気												
アマワリの空気の温度と同じ。	あたえる。	ふれている。												
イマワリの空気より温度を低くする。														
大日本	<p>【学習の進め方の示し方（第6学年）】</p> <p>○ 巻頭の「理科の学び方」で示している。</p> <p>【問題解決の過程の示し方】</p> <p>○ 見つけよう ① 問題を見つけよう</p> <p>○ 調べよう ②予想しよう ③計画を立てよう ④調べよう ⑤記録しよう</p>													

- 伝えよう
- ⑥考えよう ⑦まとめよう
- ・サイエンスワールド Science World
- ・資料(りかのたまたまてばこ)

【問題発見の工夫】

～第4学年「空気と水の性質」～

- 単元の冒頭に大きなビニル袋に空気を閉じ込め、その袋を押して活動する様子の写真や吹き出し、文を掲載している。

【問題解決の力の育成の扱い】

～第5学年「植物の発芽と成長」における「条件に目を向けて調べる」～

- 変える条件、変えない条件を区分して条件制御の視点を示すとともに、表中に結果を位置付けている。

		㊦	㊧
変える条件	水	あり	なし
変えない条件	空気	あり	
	温度	同じ温度のところ(約20℃)	
結果		3つとも発芽した。	3つとも発芽しなかった。

学図

【学習の進め方の示し方(第6学年)】

- 巻頭の「科学の芽を育てよう」で示している。

【問題解決の過程の示し方】

- みつけよう
  - ①みつける ②予想する ③計画を立てる
- 調べよう
  - ④調べる ⑤整理する ⑥結果から考える
- まとめよう
  - ⑦まとめる ⑧いかす

【問題発見の工夫】

～第4学年「空気と水の性質」～

- 単元の冒頭に大きなビニル袋に空気を閉じ込めて活動する様子の写真やイラスト、吹き出し、文を掲載している。

【問題解決の力の育成の扱い】

～第5学年「植物の発芽と成長」における「条件に目を向けて調べる」～

- 問題解決の過程に沿ったノート記述例を示し、調べる条件、そろえる条件を区分して条件制御の視点を示すとともに、表中に結果の予想を位置付けている。

		㊦	㊧
調べる条件	水	水をあたえる	水をあたえない
そろえる条件	温度	教室 (      °C)	
	空気	あり	
結果の予想			

教出

- 【学習の進め方の示し方 (第6 学年)】
- 巻頭の「学習の進め方」で示している。
- 【問題解決の過程の示し方】
- 問題を見つける
    - ・見つけよう ・問題
  - 自分の考えをつくる
    - ・予想しよう ・計画しよう
  - 自分の考えを確かめる
    - ・観察・実験 ・結果から考えよう
  - わかったことを表す
    - ・結論 ・学びを広げよう ・新たな問題を見つける
- 【問題発見の工夫】～第4 学年 「空気と水の性質」～
- 単元の冒頭に空気鉄砲に空気や水を閉じ込めて玉を飛ばして活動する様子の写真やイラスト、吹き出し、文を掲載している。
- 【問題解決の力の育成の扱い】
- ～第5 学年「植物の発芽と成長」における「条件に目を向けて調べる」～
- 問題解決の過程に沿ったノート記述例を示す中で、変える条件、同じにする条件を区分して条件制御の視点を示している。

変える条件		同じにする条件
空気	㊦あたえる	空気以外 (温度、水、明るさなど)
	㊧あたえない	

信教

教科書見本がないため、分からない。

啓林館

【学習の進め方の示し方（第6学年）】

○ 巻頭の「理科の楽しみ方」で示している。

【問題解決の過程の示し方】

① 見つける

・問題をつかもう ・問題

② 調べる

・予想 ・計画 ・観察・実験 ・結果

③ まとめる

・考察しよう ・まとめ ・もっと知りたい ・次の問題へ

【問題発見の工夫】～第4学年「空気と水の性質」～

○ 単元の冒頭に空気鉄砲の玉を飛ばして活動する様子の写真やイラスト、吹き出し、文を掲載している。

【問題解決の力の育成の扱い】

～第5学年「植物の発芽と成長」における「条件に目を向けて調べる」～

○ 変える条件、同じ条件を区分して条件制御の視点を示すとともに、表中に結果の予想、結果を位置付けている。

		ア	イ
変える条件	水	水をあたえる。	水をあたえない。
同じ条件	温度	同じ温度の室内	
同じ条件	空気	空気にふれる。	
結果の予想		すべて発芽する。	すべて発芽しない。
結果（発芽した数）			

【理科】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑥単元や資料等の配列
方 法	○判型、ページ数、単元数、単元以外の具体的内容

発行者	調査・研究内容											
東書	判型	学年	ページ数	単元数			単元 以外					
				計	A区分	B区分		AB区分				
				A 4	3	177		15	7	8	0	8
				4	201	17		5	12	0	8	
				5	169	10		3	7	0	8	
6	201	12	4	8	0	8						
<p>【第6学年の単元以外の具体的内容（数）「タイトル名」】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年間の学習ガイダンスを提示（1）「6年の理科で学ぶこと」</li> <li>○ 問題解決の流れと学習のポイントの提示（1）「理科の学び方」</li> <li>○ 自由研究の計画の立て方や調べ方、まとめ方の例示（1）「私の研究」</li> <li>○ 理科室及び実験器具の使い方の例示（1）「理科の調べ方を身につけよう」</li> <li>○ 1年間の学習のまとめ（1）「1年間をふりかえろう」</li> <li>○ 中学校理科の学習内容の紹介（1）「中学生になったら」</li> <li>○ プログラミングとの関連（1）「理科とプログラミング」</li> <li>○ 動画コンテンツの紹介（1）「デジタルコンテンツで学びを広げよう」</li> </ul>												
大日本	判型	学年	ページ数	単元数			単元 以外					
				計	A区分	B区分		AB区分				
				A 4	3	204		15	7	8	0	4
				4	228	18		5	13	0	4	
				5	196	10		3	7	0	5	
6	232	12	4	8	0	4						
<p>【第6学年の単元以外の具体的内容（数）「タイトル名」】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決の流れと学習のポイントの提示（1）「理科の学び方」</li> <li>○ 自由研究の計画の立て方や調べ方、まとめ方の例示（1）「自由研究」</li> <li>○ 他学年の学習内容を整理（1）「学びをリンク！」</li> <li>○ 理科を学ぶ上での調べ方や学習の進め方の説明や、理科室及び実験器具の使い方の例示、1年間の学習のまとめと演習問題、中学校理科の学習内容の紹介など、理科に必要な技能や資料について提示（1）「理科の学びに役立てよう」</li> </ul>												

学図			単元数				単元 以外	
	判型	学年	ページ数	計	A区分	B区分		AB区分
	A B	3	1 8 4	1 5	7	8	0	7
		4	2 0 4	1 6	5	1 1	0	7
		5	1 9 2	1 2	3	9	0	7
6		2 3 2	1 2	4	7	1	7	
<p>【第6学年の単元以外の具体的内容（数）「タイトル名」】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年間の学習ガイダンスを提示（1）「理科の世界をぼうけんしよう」</li> <li>○ 問題解決の流れと学習のポイントの提示（1）「科学の芽を育てよう」</li> <li>○ 自由研究の計画の立て方や調べ方、まとめ方の例示（1）「わたしの自由研究」</li> <li>○ 科学者の紹介（1）「科学者を知ろう」</li> <li>○ 理科室や実験器具の扱い方、対話の仕方や記録の取り方など、理科に必要な技能や資料を提示（1）「考えよう調べよう」</li> <li>○ 1年間の振り返りと中学校へ向けて（1）「理科の世界をふりかえろう」</li> <li>○ 大事な言葉、教科書に出てくる調べ方や使い方（1）「大事な言葉・調べ方や使い方」</li> </ul>								
教出			単元数				単元 以外	
	判型	学年	ページ数	計	A区分	B区分		AB区分
	A 4 変形	3	1 9 2	1 5	8	7	0	1 0
		4	2 3 2	1 8	5	1 3	0	1 0
		5	2 0 8	1 3	3	9	1	1 0
6		2 2 4	1 2	4	7	1	1 0	
<p>【第6学年の単元以外の具体的内容（数）「タイトル名」】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第5学年の学習の振り返り（1）「5年で学んだこと」</li> <li>○ 問題解決の流れと学習のポイントの提示（1）「6年で学ぶこと」</li> <li>○ 自由研究の計画の立て方や調べ方、まとめ方の例示（1）「わたしの研究」</li> <li>○ 理科室の使い方、算数科との関連など、理科に必要な技能や資料についての提示（3）「使い方・調べ方」「科学館や博物館の利用」「算数とのつながり」</li> <li>○ 第6学年の学習の振り返り（1）「6年で学んだこと」</li> <li>○ SDGsとの関わりを考える事例を提示（2）「自分のこととして考えよう」「SDGsミニずかん」</li> <li>○ 科学者や研究者からのメッセージ（1）「メッセージ」</li> </ul>								
信教	教科書見本がないため、分からない。							

判型	学年	ページ数	単元数				単元 以外
			計	A区分	B区分	AB区分	
AB	3	184	16	8	8	0	6
	4	200	18	5	12	1	6
	5	192	12	3	9	0	6
	6	216	11	4	6	1	6

啓林館

【第6学年の単元以外の具体的内容（数）「タイトル名」】

- 問題解決の流れと学習のポイントや第6学年で学ぶ資質・能力、ICTの活用について（1）「理科ガイダンス」
- 自由研究の計画の立て方や調べ方、まとめ方の例示（1）「自由研究」
- 理科室の使い方（1）「みんなで使う理科室」
- 中学校での学びに向けてのメッセージ（1）「中学校に向けて」
- ノートのまとめ方や算数科との関連、ものづくりの紹介など、理科に必要な技能や資料を提示（1）「オッターの資料室」
- 動画コンテンツの紹介や説明（1）「WaCBT」



【理科】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑦社会の変化に伴う課題への対応
方 法	○防災・減災に関する内容の扱い、プログラミングの体験に関する内容の扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【防災・減災に関する内容の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「わたしたちの暮らしと災害」という小単元を設けている。</li> <li>○ 「理科の世界 探検部」において、防災・減災に関する内容を扱っている。</li> <li>○ 「理科室の使い方」において、地震が起きたときの対処についての記述がある。</li> </ul> <p>【プログラミングの体験に関する内容の扱い】</p> <p>単元：第6学年「電気と私たちの暮らし」</p> <p>内容：「人感センサー」を使い、人が近づくと明かりが点き、しばらくすると消えるプログラムを考え、シミュレーションしたり、実際に体験したりするプログラミング体験例を紹介している。</p>
大日本	<p>【防災・減災に関する内容の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「防災」マークで関係する箇所を示したり、巻末資料に「防災に備えようブック」を掲載したりしている。</li> <li>○ 「りかのたまてばこ」「Science Worldサイエンスワールド」「防災」や単元末の問題において、防災・減災に関する内容を扱っている。</li> <li>○ 防災に関する動画の2次元コードを示している。</li> <li>○ 「理科室のきまり」において、地震が起きたときの対処についての記述がある。</li> </ul> <p>【プログラミングの体験に関する内容の扱い】</p> <p>単元：第6学年「私たちの生活と電気」</p> <p>内容：「明るさセンサー」「人感センサー」を使い、発光ダイオードに明かりを点ける2つのプログラミング（「暗いとき」と「暗くなって人が通ったとき」）を考え、実際に体験するプログラミング体験例を紹介している。</p>
学図	<p>【防災・減災に関する内容の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「防災」マークで関係する箇所を示している。</li> <li>○ 「川と災害」「火山の噴火と地震」といった小単元を設けている。</li> <li>○ 「もっと知りたい」において、防災・減災に関する内容を扱っている。</li> <li>○ 「理科室の使い方」において、地震が起きたときの対処についての記述がある。</li> </ul> <p>【プログラミングの体験に関する内容の扱い】</p> <p>単元：第6学年「電気と私たちの生活」</p> <p>内容：LEDを点滅させる2つのプログラム（1回点滅と3回点滅）を考え、シミュレーションを使って体験するプログラミング体験例を紹介している。また、「動きに反応するセンサー」「明るさに反応するセンサー」「温度に反応するセンサー」を紹介している。</p>
教出	<p>【防災・減災に関する内容の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「台風接近」「川と災害」「地震や火山と災害」といった小単元を設けている。</li> <li>○ 「科学のまど」「資料」において、防災・減災に関する内容を扱っている。</li> <li>○ 「理科室の使い方」において、地震が起きたときの対処についての記述がある。</li> </ul> <p>【プログラミングの体験に関する内容の扱い】</p> <p>単元：第6学年「電気の利用」</p>

	内容：ネコの絵を画面の中で鳴きながら半周動かすプログラム例や実際の信号機の動作を再現したミニ信号機を動作させるシミュレーションやプログラミング体験例を紹介している。
信教	教科書見本がないため、分からない。
啓林館	<p>【防災・減災に関する内容の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「with the Earth」「くらしとリンク」において、防災・減災に関する内容を扱っている。</li> <li>○ 「みんなで使う理科室」において、地震が起きたときの対処についての記述がある。</li> </ul> <p>【プログラミングの体験に関する内容の扱い】</p> <p>単元：第6学年「発電と電気の利用」</p> <p>内容：「人感センサー」と「明るさセンサー」を使い、人が近づいて暗かったら明かりが点くプログラムをシミュレーションしたり、実際に体験したりするプログラミング体験例が紹介されている。また「人感センサー」「温度センサー」を使って実際に体験するプログラミング体験例が紹介されている。</p>

【理科】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用の工夫
方 法	○巻頭・巻末等の資料の扱い、イラスト・写真・図表等の示し方の工夫、キャラクターやマーク等の活用

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【巻頭・巻末等の資料の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭には、「〇年の理科で学ぶこと」を掲載している。また、「理科の学び方」で、学習の進め方の資料を掲載している。</li> <li>○ 巻末では、各学年の学習内容を整理した資料を掲載している。また、「理科の調べ方を身につけよう」で、器具の扱い方やノートの書き方等についての資料を掲載している。さらに、「理科とSDGs」「理科とプログラミング」「デジタルコンテンツで学びを広げよう」等の資料を掲載している。</li> </ul> <p>【イラスト・写真・図表等の示し方の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の冒頭では、写真等を使用して、自然事象を提示している。</li> <li>○ 子供のイラストやキャラクターの吹き出しで、疑問を投げ掛けたり、考える視点を示したりしている。</li> </ul> <p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決の過程（「問題をつかもう」「予想しよう」「計画しよう」「考えよう」等）を表すマークを設定し、矢印でつなぐことで学習の流れを示している。</li> <li>○ 全学年で同じキャラクターが登場し、青枠内に「理科の見方・考え方」を働かせるための学習の進め方や活動のヒントを示している。</li> <li>○ 「思い出そう」のマークで、他教科等での学習や暮らしとのつながりを示している。</li> </ul>
大日本	<p>【巻頭・巻末等の資料の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭には、写真やマンガ等で学習内容を示した資料を掲載している。また、「理科の学び方」で学習の進め方の資料を掲載している。</li> <li>○ 巻末では、「〇年のまとめ」で、各学年の学習内容を整理した資料を掲載している。また、「理科の学びに役立てよう」で、器具の扱い方やノートの書き方等についての資料を掲載している。さらに、次年度の学習内容や科学者の言葉を紹介する紙面、各学年に応じた資料等を掲載している。</li> </ul> <p>【イラスト・写真・図表等の示し方の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の冒頭では、写真等を使用して、自然事象を提示している。</li> <li>○ 子供のイラストやキャラクターの吹き出しで、考えるヒントとなる問いや気付き等を示している。</li> </ul> <p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決の過程（「問題を見つける」「問題」「予想」「計画」「観察」「実験」「結果」「考察」「結論」等）を表すマークを設定し、ページ左のラインでつながりを示すことで学習の流れを示している。</li> <li>○ 学年ごとに設定されたキャラクターが、問題を見つける際や考察する際等に登場し、注目点を示している。</li> <li>○ 観察や実験の「ポイント」を表すマークを設定している。</li> </ul>
学図	<p>【巻頭・巻末等の資料の扱い】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭には、科学の専門家の言葉の紹介や「理科の世界をぼうけんしよう」で、各学年で扱う植物についての資料を掲載している。また、「科学の芽を育てよう」において、各学年で特に付けたい力や学習の進め方等の資料を掲載している。</li> <li>○ 巻末では、「理科の世界をふりかえろう」で、各学年の学習内容やできるようになったことを振り返る資料等を掲載している。また、器具の扱い方やノートの書き方等についての資料を掲載している。</li> </ul> <p>【イラスト・写真・図表等の示し方の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の冒頭では、写真等を使用して自然事象を提示している。</li> <li>○ 子供のイラストと吹き出し等で、考えることを促したり、考える視点を示したりしている。</li> </ul> <p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決の過程（「問題を見つけよう」「問題」「観察」「実験」「わかったこと」等）を表すマークを設定し、矢印でつなぐことで学習の流れを示している。</li> <li>○ 理科で育成したい「資質・能力」をキャラクターとして示している。</li> <li>○ 単元の冒頭で、その単元で身に付けたい資質・能力を3つに絞り、示している。</li> </ul>
<p>教出</p>	<p>【巻頭・巻末等の資料の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭には、SDGs や各学年で主に育成したい力を関連させた「問い」等を掲載している。また、「〇年で学んだこと」では、前学年の学習内容のまとめ資料、「学習の進め方」では、学習の進め方の資料や「ノートのとり方」の資料等を掲載している。</li> <li>○ 巻末では、「使い方・調べ方」で器具の扱い方等の資料、「〇年で学んだこと」で一年間の学習を振り返る資料、科学館や博物館の紹介資料等を掲載している。</li> </ul> <p>【イラスト・写真・図表等の示し方の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の冒頭では、写真等を使用して、自然事象を提示している。</li> <li>○ 子供のイラストと吹き出しで、疑問や気付き等を示している。</li> </ul> <p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決の過程（「問題」「観察・実験」「結論」等）をマークで設定し、矢印でつなぐことで学習の流れを示している。</li> <li>○ キャラクターの吹き出しを「見方のカギ」や「考え方のカギ」として示している。</li> <li>○ 「思い出そう」のマークで、既習事項や生活経験とのつながりを示している。</li> </ul>
<p>信教</p>	<p>教科書見本がないため、分からない。</p>
<p>啓林館</p>	<p>【巻頭・巻末等の資料の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭には、各学年の学習内容に関連した自然事象の写真を掲載している。「理科の楽しみ方」で学習の進め方の資料を掲載している。また、「学びの中でICTを活用してみよう」や「季節ごよみ」等の資料を掲載している。</li> <li>○ 巻末の「資料室」では、「かく」「伝える」「しせつの活用」「算数のまど」等の資料を示している。</li> </ul> <p>【イラスト・写真・図表等の示し方の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の冒頭では、写真等を使用して自然事象を提示している。</li> <li>○ 子供のイラストと吹き出しで、考える視点を与える疑問や気付き、考え等を示している。</li> </ul> <p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決の過程（「問題」「まとめ」等）をマークで設定し、点線でつなぐことで学習の流れを示している。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 「思い出そう」のマークで、既習事項や他教科での学習とのつながりを示している。</li><li>○ 理科の「見方・考え方」のポイントとなる言葉に、緑色のマーカーを引き、示している。</li></ul>
--	---

【理科】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑨観察、実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫
方 法	○考察文の記述例、考察文の要素

発行者	調査・研究内容							
東書	第4学年「金属、水、空気と温度」における考察文の記述例】							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>空気</th> <th>水</th> <th>金属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 「空気は、あたためられると、体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなります。」</td> <td>○ 「水は、あたためられると、体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなります。」 ○ 「温度による水の体積の変わり方は、空気にくらべて、ずっと小さいです。」</td> <td>○ 「金ぞくは、熱せられると、体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなります。」 ○ 「温度による体積の変わり方は、空気、水、金ぞくの順に大きいです。」</td> </tr> </tbody> </table>	空気	水	金属	○ 「空気は、あたためられると、体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなります。」	○ 「水は、あたためられると、体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなります。」 ○ 「温度による水の体積の変わり方は、空気にくらべて、ずっと小さいです。」	○ 「金ぞくは、熱せられると、体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなります。」 ○ 「温度による体積の変わり方は、空気、水、金ぞくの順に大きいです。」	<p>【考察文の要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関連付けられた結論の記述</li> <li>○ 比較に基づく特徴の記述</li> <li>○ 既習の内容との比較を用いた記述</li> </ul>
空気	水	金属						
○ 「空気は、あたためられると、体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなります。」	○ 「水は、あたためられると、体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなります。」 ○ 「温度による水の体積の変わり方は、空気にくらべて、ずっと小さいです。」	○ 「金ぞくは、熱せられると、体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなります。」 ○ 「温度による体積の変わり方は、空気、水、金ぞくの順に大きいです。」						
大日本	【第4学年「金属、水、空気と温度」における考察文の記述例】							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>空気</th> <th>水</th> <th>金属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 「空気の温度が変わると、空気の体積が変わる。」 ○ 「空気はあたためられると体積が大きくなり、冷やされると体積が小さくなる。」</td> <td>○ 「水も空気と同じように、あたためられると、体積が大きくなり、冷やされると体積が小さくなる。」 ○ 「水の体積の変化は、空気にくらべて小さい。」</td> <td>○ 「金ぞくも、空気や水と同じように、あたためられると体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなる。」 ○ 「金ぞくの体積の変化は、空気や水に比べてとても小さい。」</td> </tr> </tbody> </table>	空気	水	金属	○ 「空気の温度が変わると、空気の体積が変わる。」 ○ 「空気はあたためられると体積が大きくなり、冷やされると体積が小さくなる。」	○ 「水も空気と同じように、あたためられると、体積が大きくなり、冷やされると体積が小さくなる。」 ○ 「水の体積の変化は、空気にくらべて小さい。」	○ 「金ぞくも、空気や水と同じように、あたためられると体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなる。」 ○ 「金ぞくの体積の変化は、空気や水に比べてとても小さい。」	<p>【考察文の要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関連付けられた結論の記述</li> <li>○ 比較に基づく特徴の記述</li> <li>○ 既習の内容との比較を用いた記述</li> </ul>
空気	水	金属						
○ 「空気の温度が変わると、空気の体積が変わる。」 ○ 「空気はあたためられると体積が大きくなり、冷やされると体積が小さくなる。」	○ 「水も空気と同じように、あたためられると、体積が大きくなり、冷やされると体積が小さくなる。」 ○ 「水の体積の変化は、空気にくらべて小さい。」	○ 「金ぞくも、空気や水と同じように、あたためられると体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなる。」 ○ 「金ぞくの体積の変化は、空気や水に比べてとても小さい。」						

学図	【第4学年「金属、水、空気と温度」における考察文の記述例】						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="339 264 671 320">空気</th> <th data-bbox="671 264 991 320">水</th> <th data-bbox="991 264 1370 320">金属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="339 320 671 864"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「空気は温められて温度が高くなると体積がふえ、冷やされて温度が低くなると、体積がへる。」</li> <li>○ 「よう器を湯に入るとせんが飛び出すのは、よう器の中の空気が温められることにより体積がふえ、せんを内側からおすからである。」</li> </ul> </td> <td data-bbox="671 320 991 864"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「水も空気と同じように、温められて温度が高くなると体積がふえ、冷やされて温度が低くなると体積がへる。」</li> <li>○ 「水の体積の変わり方は、空気にくらべると小さい。」</li> </ul> </td> <td data-bbox="991 320 1370 864"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「金ぞくも、温められて温度が高くなると体積がふえ、冷やされて温度が低くなると体積がへる。」</li> <li>○ 「金ぞくの体積の変わり方は、空気や水にくらべると、とても小さい。」</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	空気	水	金属	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「空気は温められて温度が高くなると体積がふえ、冷やされて温度が低くなると、体積がへる。」</li> <li>○ 「よう器を湯に入るとせんが飛び出すのは、よう器の中の空気が温められることにより体積がふえ、せんを内側からおすからである。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「水も空気と同じように、温められて温度が高くなると体積がふえ、冷やされて温度が低くなると体積がへる。」</li> <li>○ 「水の体積の変わり方は、空気にくらべると小さい。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「金ぞくも、温められて温度が高くなると体積がふえ、冷やされて温度が低くなると体積がへる。」</li> <li>○ 「金ぞくの体積の変わり方は、空気や水にくらべると、とても小さい。」</li> </ul>
空気	水	金属					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「空気は温められて温度が高くなると体積がふえ、冷やされて温度が低くなると、体積がへる。」</li> <li>○ 「よう器を湯に入るとせんが飛び出すのは、よう器の中の空気が温められることにより体積がふえ、せんを内側からおすからである。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「水も空気と同じように、温められて温度が高くなると体積がふえ、冷やされて温度が低くなると体積がへる。」</li> <li>○ 「水の体積の変わり方は、空気にくらべると小さい。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「金ぞくも、温められて温度が高くなると体積がふえ、冷やされて温度が低くなると体積がへる。」</li> <li>○ 「金ぞくの体積の変わり方は、空気や水にくらべると、とても小さい。」</li> </ul>					
教出	【第4学年「金属、水、空気と温度」における考察文の記述例】						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="339 1232 671 1288">空気</th> <th data-bbox="671 1232 991 1288">水</th> <th data-bbox="991 1232 1370 1288">金属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="339 1288 671 1659"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「空気は、あたためると体積がふえ、冷やすと体積が小さくなる。」</li> </ul> </td> <td data-bbox="671 1288 991 1659"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「水は、空気と同じように、あたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」</li> <li>○ 「水の体積の変化は、空気よりと小さい。」</li> </ul> </td> <td data-bbox="991 1288 1370 1659"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「金ぞくは、空気や水と同じように、あたためると、体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」</li> <li>○ 「金ぞくの体積の変化は、空気や水とくらべてひじょうに小さい。」</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	空気	水	金属	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「空気は、あたためると体積がふえ、冷やすと体積が小さくなる。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「水は、空気と同じように、あたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」</li> <li>○ 「水の体積の変化は、空気よりと小さい。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「金ぞくは、空気や水と同じように、あたためると、体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」</li> <li>○ 「金ぞくの体積の変化は、空気や水とくらべてひじょうに小さい。」</li> </ul>
空気	水	金属					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「空気は、あたためると体積がふえ、冷やすと体積が小さくなる。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「水は、空気と同じように、あたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」</li> <li>○ 「水の体積の変化は、空気よりと小さい。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「金ぞくは、空気や水と同じように、あたためると、体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」</li> <li>○ 「金ぞくの体積の変化は、空気や水とくらべてひじょうに小さい。」</li> </ul>					
信教	教科書見本がないため、分からない。						

【第4学年「金属、水、空気と温度」における考察文の記述例】

啓林館

空気	水	金属
○ 「空気は、あたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」	○ 「水も空気と同じように、あたためると、体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」 ○ 「空気と水をくらべると、空気のほうが体積の変化が大きく、水のほうが体積の変化が小さくなります。」	○ 「金ぞくも空気や水と同じように、あたためると、体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」 ○ 「金ぞくの体積の変化は、空気や水の体積の変化にくらべると、小さい。」

【考察文の要素】

- 関連付けられた結論の記述
- 比較に基づく特徴の記述
- 既習の内容との比較を用いた記述



【理科】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑩科学的な言葉や概念を使用して自分の考えを論述する活動の工夫
方 法	○話し合いや説明の活動を促す工夫、話し合いの具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【話し合いや説明の活動を促す工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「問題をつかもう」「予想しよう」「計画しよう」「考察しよう」といった学習過程において、児童の対話を示している箇所がある。</li> <li>○ 巻末に「発表のしかた」「話し合いのしかた」として、発表や話し合いの際の留意点を示している。</li> </ul> <p>【第5学年「電流がつくる磁界」における話し合いの具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「電磁石の強さ」の「計画しよう」での対話 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「電流を大きくするには、かん電池2個を直列つなぎにすればいいね。」</li> <li>・「そのとき、コイルの導線のまき数は……。」</li> <li>・「導線のまき数を多くして調べるときには……。」</li> </ul> </li> </ul>
大日本	<p>【話し合いや説明の活動を促す工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題を発見する場面や「予想」「計画」「考察」「結論」といった学習過程において、机を挟んで話し合う形で児童の対話を示している箇所がある。</li> </ul> <p>【第5学年「電流がつくる磁界」における話し合いの具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「電磁石の強さ」の「計画」での対話 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「比べるときは、調べる条件を1つだけ変えて、それ以外の条件は同じにしないとイケないね。」</li> <li>・「電流の大きさが関係しているか調べるときは、変える条件を…、変えない条件を…。」</li> <li>・「かん電池2個を直列つなぎにすると、電流の大きさを大きくすることができたね。」</li> </ul> </li> </ul>
学図	<p>【話し合いや説明の活動を促す工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「問題を見つけよう」「予想」「計画」「考察」といった学習過程に関係付けられた項目において、児童の対話を示している箇所がある。</li> <li>○ 巻末に「伝える・聞く」として、説明の際の留意点を示している。</li> </ul> <p>【第5学年「電流がつくる磁界」における話し合いの具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「電磁石の強さ」の「計画・予想」での対話 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「調べる条件は、『電流の大きさ』だから…。」</li> <li>・「そうすると、そろえる条件は、『コイルのまき数』。」</li> <li>・「調べる条件は、『コイルのまき数』だから…。」</li> <li>・「そうすると、そろえる条件は、『電流の…』。」</li> </ul> </li> </ul>

<p>教出</p>	<p>【話し合いや説明の活動を促す工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「予想しよう」「計画しよう」「結果から考えよう」といった学習過程において、教師と児童の対話を示している箇所がある。</li> <li>○ 巻末に「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」「話し合いのしかた」として、説明の際の留意点を示している。</li> </ul> <p>【第5学年「電流がつくる磁界」における話し合いの具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「電磁石のはたらき」の「計画しよう」での対話 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かん電池1個のときとかん電池2個の直列つなぎのときであとの条件を同じにして、引き付けるクリップの数を比べればいいです。」</li> <li>・「100回まきの電磁石と200回まきの電磁石で、あとの条件を同じにして、引き付けるクリップの数を比べればいいです。」</li> <li>・「電流の大きさとコイルのまき数のそれぞれについて、変える条件を決めて、あとの条件を同じにして調べる方法を考えたのですね。」</li> </ul> </li> </ul>
<p>信教</p>	<p>教科書見本がないため分からない。</p>
<p>啓林館</p>	<p>【話し合いや説明の活動を促す工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「問題をつかもう」「予想」「予想と計画」「まとめ」といった学習過程において、机を挟んで話し合う形での児童の対話や教師と児童との対話を示している箇所がある。</li> <li>○ 巻末に「伝える」として、「話すとき」「聞くとき」「発表するとき」の留意点を示している。</li> </ul> <p>【第5学年「電流がつくる磁界」における話し合いの具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「電磁石の強さ」の「予想と計画」での対話 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「電磁石を強くする条件を予想して、それを確かめる実験の方法を考えてみましょう。」</li> <li>・「流す電流を大きくすると、電磁石の力は強くなると思うよ。」</li> <li>・「かん電池2個を直列つなぎにすれば、電流を大きくすることができたね。」</li> <li>・「エナメル線をまく回数を増やしたら、電磁石の力が強くなると思うよ。」</li> <li>・「エナメル線をまく回数を変えるときは、かん電池の数を同じにする必要があるね。」</li> </ul> </li> </ul>